

327

1017

兵庫縣赤穂郡

第壹回地方改良講演集

全



始



327-1017

自治ノ本義

兵庫縣屬 法學士 金森太郎

緒論

私ガ金森デスアリマス、此ノ度ノ講演ハ自治ノ本義ト云フコトデアリマスガ元來此ノ地方自治ト云フコトニ就テハ諸君ハ永年實地其ノ局ニ當テ居ラレル方々デアリマシテ私共ヨリハ多クノ經驗ト意見ヲ有シテ居ラレルコトト存ジマス、夫故私カ今回申上ゲ様ト思フコトハ專ラ理論ノ上ニ於テ自治トハ如何ナル意義ヲ有シテ居ルモノデアリカト云フコトヲ述ベタイト思フデアリマス

自治トハ讀ンデ字ノ如ク他人ニ依ラス自分ノコトハ自ら治ムルト云フデアリマシテ例セハ學校内ニ於テ生徒カ寄宿舎其ノ他ノコトニ就テ自ら行フトセハ之モ亦一ノ自治デアリマス、併シ只今ハ斯クノ如キ廣キ意義デハナシテ主トシテ地方自治即チ地方ノ行政事務ヲ行フニ當テ地方團體自身ガ之ヲ行フコトヲ許サレタルコトニ付テ申述ベルノデアリマス

凡ソ人類ト云フモノハ政治的ノ動物デアアル換言スルナラハ團體的ノモノデアツテ決シテ單獨ニ生活シテ行クコトノ出來ナイモノデアアル必ス多數相集テ團體的生活ヲナシ而シテ其ノ内ニ於テ或ハ家族或ハ國家ト云フ風ニ秩序アル共同生活ヲナス点ニ於テ其ノ特色ヲ有スルモノデアアル、此ノ共同生活ガ最モ進歩シタキニ國家ヲ生ズルノデアリマス、

國家トハ一定ノ人類ト土地トヲ以テ成立シ或效力ニヨリテ支配サルル團體ヲ云フデアリマス、故ニ先一定ノ人類ヲ必要トシマス之ヲ民族又ハ國民ト申シマス、次ニ一定ノ土地ヲ必要トスル之ガ即領土デアリマス、最後ニ此

大正 6. 8. 22 内交

ノ土地ノ上ニ於テ此ノ民族ノ爲ニ其ノ共同生活ヲ完全ニ發達セシムル爲一個ノ效力ヲ要スル、此ノ最高唯一ノ效力即チ主權アツテ始メテ國家ハ完全ニ統治サレ發達スルノデアル、斯クノ如ク個々ノ人カ集テ國家ヲ爲シ國家ハ又自ラ自己獨特ノ目的ナルモノヲ有スルノデアル而シテ此ノ目的ハ個人個々ノ目的ト常ニ必スシモ一致スルト云フコトヲ得ナイノデアリマス、故ニ國家ハ國家トシテ自己ノ目的ヲ達スル様ニ努メネバナラヌノデアリマス、此ノ國家ノ目的ヲ達スルガ爲ニ爲ス國家ノ行爲ヲ稱シテ政治ト云フノデアリマス、今此ノ政治行爲ヲ其ノ性質ニヨリ分チテ左ノ通りニスル事カ出來ルノデアリマス、

- 第一 國家自身ノ存在ヲ維持スル爲ニスル行爲 例セハ國防用兵外交ニ干スル事務ノ如シ
- 第二 國家共同生活ノ現状ヲ維持スル行爲 例セハ民事、裁判、警察、傳染病豫防、水防事務ノ如シ
- 第三 國家共同生活ヲ現状以上ニ發達セシムル行爲 例セハ教育ノ普及、産業ノ獎勵發達、交通ノ警備等其他一般行政事務ノ大部分

第一、第二ノ事務ヲ除キテ國家ヲシテ物質上精神上向上發展セシメ以テ國家ノ繁榮強大ヲ劃ラムトスルニハ此ノ第三ノ所謂助長行政事務ナルモノガ最も重大ナル地位ヲ占ムルノデアリマス、而シテ地方行政ハ此ノ助長行政ノ一部ヲ占ムルモノナノデアリマス
ソコデ此ノ地方行政事務ナルモノガ之ヲ國家ノ事務トシテ全部中央ニ於テ行フ方ガ可デアルカ又ハ之ヲ地方ニ行ハシムルガ可デアルカハ大ニ研究ヲ要スルノデアリマスガ要スルニ大体ニ於テカカル事務ハ國家自身ガ直接自己ノ機關ニヨリテ行フヨリモムシロ地方人民ヲシテ或程度迄ハ之ニ參與セシメテ自己ノ利害干係ヲ考察シテ最モ可ナリト信スル方法ニヨリテ之ヲナサシムルヲ利益ナリトシテ之ニ自治ヲ許スニ至タノデアリマス
國家カ地方自治ヲ認ムルニ至テ理由ハ以上述ヘタ外ニ未ダ第二ニ之ト立憲政体トノ干係ヲ考ヘテ見ネバナラヌト思フノデアリマス、即チ立憲政治ヲ完全ニ行ハムトスルニハ是非共自治ノ觀念ヲ一般國民ノ胸中ニ深ク印象セシ

メテオクコトガ必要ナノデアリマス、夫故獨リ地方ノ事務ニ就テノ觀念ト云フニ止テズシテ又中央行政トノ干係ニ於テモ重大デアルコトヲ知ラネバナラヌノデアリマス、依テ先立憲政体ノ何タルカニ就テ簡單ニ申シテ見タイト思フノデアリマス

凡テ國家ハ主權人民及領土ヲ以テ其ノ要素トスルコトハ前述ノ通りデアリマスガ此ノ内ノ主權カ此ノ國家内ノ何レニ存在シテ居ルカ換言スレハ意思ノ力タル此ノ權力ハ只漠然ト存在スルモノデハナクシテ國家内何レカニ其ノ在ル所カ定テ居ラネバナラヌノデアリマス、即チ此ノ意思ノ力ノ本体トナルベキモノヲ主權ノ所在ト云フノデアリマス、而シテ此ノ所在ヲ國体ト申スノデアリマス、通常之ヲ君主國体及民主國体ト致シマス
處カ此ノ主權ノ所在即チ主權者カ如何ナル様式ニ依テ其ノ主權ヲ行使スルカト云フコトニ依テ又區別ヲ生スルノデアリマス、之ヲ政体ト申シマス

政体ヲ通常ハ大別シテ立憲政体ト專制政体ニ致シマス、專制政体トハ主權者ガ主權ヲ行使スルニ當テ其ノ權力ヲ分ツコトナク專ラ自己ノ自由ニ之ヲ行フモノヲ云フノデアリマス、之ニ反シテ立憲政体トハ憲法ヲ制定シ之ニヨツテ主權ノ行使ヲ立法司法行政ノ三權ニ分テ行ハシメ各權皆獨立シ主權者ニ對シテ又各權相互ノ間ニ於テ各々獨立シタル範圍ヲ有シテ他ノ侵犯ヲ許サヌノデアリマス、而シテ其ノ特長トスル所ハ民選ノ議院ヲ置キ之ニヨリテ國務ノ重要ナル部分ヲ行ハシムルヲ以テ今日各國ノ通則トスルノデアリマス即チ之ニ依テ見ルハ主權者ハ其ノ權力ヲ恣ニスルコトナク或範圍ニ於テハ之ヲ他ノ機關ニ分チ一人ノ專制ニヨル弊ヲ防止スルト共ニ人民ヲシテ一般ニ自己ノ地位ヲ自覺セシメ政治ニ參與セシメ以テ上下一致シテ國家ノ發展ヲ計ラムトスルノデアリマス
斯クノ如ク立憲政体ノ内デモ最モ重大ナル点ハ此ノ民選ノ議院ニアルノデアリマス、夫故ニ此ノ議院ヲシテ完全ニ其ノ職務ヲ盡サシムルカ否ヤト云フコトハ又即チ立憲政治カ其ノ國ニ於テ完全ニ行ハレテ居ルカ否カラ知ルコトニナルノデアリマス

所ガ此ノ民選ノ議院ハ議院其モノノ活動ノミガ果シテ立憲的ナリヤ否ヤラ決定スルノデハナクシテ更ニ重大ナルモノカ其ノ背後ニ存在シテ居ルノデアアル即チ之ヲ選舉スル一般國民ノ覺悟如何ニヨルノデアアル、如何許リ議院ノ立憲思想ガ發達セリトスルモ國民ニ於テ到底立憲ノ何タルカラ自覺スルコトナカツタナラハ満足ナル立憲政治ト云フモノハ行ハレルモノデハナイノデアリマス

處カ此ノ立憲政体ニ就テ種々誤解シテ居ルモノガ少クナイノデアリマス、或ハ議院ナルモノハ人民ノ代表者ノ集合デアアル、實際ハ全体ノ人民カ出席シテ政治ニ參與スル筈デアアルガ事實之ヲ許サナイノデ余儀ナク其ノ權限ヲ委任シテ代表者ヲ中央ニ送り之ヲシテ自己ノ意思ヲ發表セシムルノデアアル、夫故ニ議員トナツタモノハ即チ其ノ選舉區ノ代表者デアアルカラ選舉區ノ利益ヲ主張スル義務ガアル若シモ之ニ反スル様ナ場合ニハ其ノ職務ヲ履行セヌト云フノデアリマス、併シ之ハ吾國ノ立憲政体ノ主旨トハドウシテモ一致セヌモノト思フノデアリマス、吾國ノ立憲政体ニヨリ民選ノ議院ヲ設クルト云フコトハ之ニヨツテ國政ノ執行ニ參與シテ充分其ノ任ヲ盡スコトカ出來ルト信スルモノヲ選出スルノデアアル、只單ニ代表者ヲ出スノデハナイノデアアル、故ニ選出後ニ於テ其ノ選舉區ト議員トノ間ニ何等特別ノ干係ハナイ筈デアアル、議員タルモノハ議院ノ一員トシテ國家ノ利害干係ヲ考ヘ最モ正當ナリト信スル所ニヨリテ活動スヘキデアリマス、故ニ選舉スル方デモ最モ此ノ点ニ於テ適任ト認ムルモノヲ選ブベキデアリマシテ決シテ代表者ト云フコトヲ考エルベキモノデハナイト思フ

以上述べタ如ク立憲政治ノ最モ重要ナル点ハ民選ノ議院ヲシテ如何ニセバ完全ニ其ノ目的ヲ達スルニ適當ナルモノトシテ之ヲ組織スルコトヲ得ルカニ在リトシタナラバ之カ根底ヲナスモノハ實ニ一般國民デアアル、茲ニ於テ私ハ所謂自治制度ニ於テ地方人民ヲシテ政治ニ熟練セシメ之ヲシテ先ヅ政治上ノ責任ヲ自覺セシムルコトヲ第一トセネバナラスノデアリマス、夫ニハ先ヅ地方人民ヲシテ最モ手近ナル其ノ地方ニ於ケル政治ニ參與セシメ以テ一般ニ政治的觀念ヲ養成シ之ニヨリテ單ニ自己一身ノ利害干係ヲハナレテ一郷一國ノ利害休戚ヲ念頭ニオク様ニシ

常ニ自治ト云フコトト國家團體ノ利益ト云フコトヲ一致セシムル様ニ努メナケレバナラスト思フノデアリマス、斯クノ如クニシテ地方自治ニ於テ養ハレタル精神ヲ以テスレバ一國ノ政治ヲナス場合ニ於テモ又從テ自己ノ政治的地位ヲ自覺シテ責任ヲ以テ只僅カニ一身一地方ノ事ノミヲ考ユルコトナク廣ク天下國家ノ利益ト云フコトニ及ボシテ其ノ職務ヲ行フコトカ出來ルト思フノデアリマス

私ハ此ノ点ニ於テモ地方自治ト云フコトガ必要ガアルト云フコトヲ述ベ之ニヨリテ獨リ地方ノミナラズ中央ノ立憲政治モ亦圓滿ニ行ハレルコトガ出來ルト思フノデアリマス

第一章 自治ノ沿革

緒論ニ於テ畧自治ヲ設クルニ至リシ理由ヲ申上ゲタノデアリマスガ併シ之ヲ各國ノ實際ニ照シテ見ルルハ各國其軌ヲ異ニシ從テ等シク地方自治ト申シマシテモ其ノ種類範圍ニ於テ異ル處ガ少クナイノデアリマス、夫故ニ本章ニ於テ簡單ニ其ノ沿革ヲ述ベタイト思フノデアリマス

地方自治ノ沿革ヲ述ベルノニ當テ大別シテ之ヲ英國ト歐州大陸トナシ其ノ各ニ就テ述ブルヲ便トスルノデアリマス

英國ニ於ケル自治ノ沿革ハ極メテ古イモノデアリマシテ地方自治ト云フコトヲ研究スル上ニ於テ此ノ國ノ沿革ニ最モ重大ナルモノトセラレテ居ルノデアリマス、ソコデ英國ニ於ケル所謂自治トハ日本テ云フ地方自治ヨリ更ニ廣ク中央行政ニ於テモ或ハ議會ニヨリ又ハ陪審官ノ如キモノニヨリテ專任官吏以外ノモノカ之ニ參與スルルハ之ヲ自治ト云フノデアリマス併シ只今ハ地方自治ノコトヲ主トシテ申スコトニ致シマス、英國ノ自治カ真ニ其ノ體裁ヲ備フルニ至ツタノハ漸ク十七八世紀ニ至リテノ事デアリマスカ此ノ時代ニ於テ地方ニ於テ最モ重要ナ地位ヲ占メテ居ツタノハ治安判事デアリマス、之ハ地方ノ地主又ハ僧侶ノ内ヨリ選ハレテ司法警察行政ノ事務ヲ行フテ

居タノデアリマスガ次第ニ勢力ヲ増大スルニ連レ地方自治ト云ハンヨリムシロ地方專制トナリ其ノ結果反テ弊害ヲ生スルニ至タノデ法律ヲ改正シテ地方ノ事務ニ就テハ更ニ納稅者ニモ發言權ヲ與ヘ議員ノ公選其ノ他ノ方法ニヨリテ眞ノ完全ナル自治ヲ行フニ至ツタノデアリマス、爾來英國ニ於ケル自治ハ多少ノ變遷ヲ經テ來タノデアリマスガ其ノ自治ノ主眼トスル所ハ專任ノ官吏ニアラザルモノヲシテ國權ノ行使ニ參與セシムルト云フ点ニアルノデアリマス、故ニ地方政治ニ於テモ國家ノ官吏ハ共ニ必ズ一方ニハ官吏ニアラザル機關ヲ設ケテ之ト相共同シテ地方行政ヲ行ハントスルノデアリマス

次ニ歐洲大陸ニ於テ中世紀ノ封建制度漸ク廢シテ中央集權ノ世トナリ遂ニハ極端ナル專制政治ガ行ハレル様ニナツタノデアリマス然ルニ此ノ反動トシテ近世ノ自由平等ノ聲カ盛ニナツテ來タノデアリマス、佛國ニ於テハ大革命カ行ハレ其ノ余波ハ全歐ニ及ビ遂ニ幾多ノ波瀾曲折ヲ經テ漸次ニ各國ニ於テ立憲政治ガ行ハルルニ至タノデアリマス從テ又地方制度ニ於テモ改革ガ行ハレ地方議會ハ地方住民ヨリ選ビ之ニヨリテ各地方ハ中央ニ對シテ多少獨立ノ地歩ヲ占ムルコトニナツタノデアリマス、如斯大陸ニ於ケル地方自治ノ實施ニ就テモ其ノ傾向ニ於テハ獨、佛多少趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、ソコデ其ノ点ヲ更ニ申上ゲテ見マスト佛國ハ永年ノ間中央集權王權專制ニ馴致サレタ爲カ今日ニ於テモ容易ニ之ヲ脱却スルコトカ出來ズ眞ニ自治ト云フコトヲエナイ点モ少クナイノデアリマス、之ニ對シテ獨乙ハ自國ノ發展上是非其地方ニハ或程度ノ自治ヲ許スヘシト云フ主義ノ下ニ地方ノ自治ヲ認メテ今日ニ至タノデアリマス

今此ノ英國ト歐洲大陸トノ地方自治ニ就テ其ノ相違シテ居ル点ノ著シキモノヲ左ニ述テ見ヨウト思フノデアリマス

一、英國ノ自治ハ凡テ沿革ニ元クモノデアアルカラ大体ニ於テ統一ヲ有スルモ各般ノ事務ニ就テ凡テカ整然ト秩序ヲ立テテ居ルト云フコトガ出來ナイノニ反シテ大陸ニ於テハ根據ヲ理論ニオキ一定ノ原則ノ下ニ自治ヲ認ム

ルニ至タモノデアアルカラ中央行政ト地方行政ノ間ニ在テモ自ラ整然タル秩序カアルノデアリマス

二、英國ハ地方自治ニ干シテ地方ヲ主トシ國家ヲ客トスルニ反シ大陸ハ國家ノ行政ヲ行フ上ニ於テ地方自治ヲ許スノデアアルカラ此ノ点ニ於テモ國家ガ主デアツテ地方ハ客タルニスギナイノデアアル

三、英國ニ於テハ選舉ニヨル名譽職吏員ガ主トシテ地方行政事務ヲ管掌スルガ大陸諸國ニ在リテハ有給吏員ガ其ノ職ニ當ルコトガ多イノデアアル

先ヅ大体ニ於テ以上ノ諸点ニ就テ其ノ相違ヲ認ムルノデアリマスガ之ニヨリテ見ルモ英國ハ地方團體ニ於テ特ニ重ヲオク点ハ特別ニ國家ヨリ命セラレタ官吏ヨリハムシロ地方ニ於テ選タ名譽職ニヨリテ行ハレ大陸諸國ニ就テハ中央集權ヲ以テ國家統治ノ根本觀念トナスモノデアアル、夫故先中心トナルモノハ國家デアツテ其ノ國家カ地方行政ヲ行フニ當テ或程度ニ於テ地方ノ事務ハ地方ニ委任シテヤラセル方カ適當デアルト考ヘテ地方自治ヲ認ムルニ至タノデアアル

歐洲諸國ニ於ケル自治ノ沿革ハ今申上ゲタ通りデアリマス、併シ之ヲ吾國ニ於テ行フニ至レバ又自ラ異タル沿革ヲ有スルコトハ疑ヲ入レヌノデアリマスガ夫ハ又後章ニ於テ述ブルコトニ致マシテ次ニ之等ノ沿革ニ元キテ生シタル自治ノ意義ヲ考ヘテ見タイト思フノデアリマス

第二章 政治ト法律

前章述ベマシタ沿革ニヨリマシデ各國ハ自治ノ制度ヲ設ケルニ至ツタノデアリマスガ只今ヨリ其ノ意義ヲ考ヘルニ就テ或ハ之ヲ以テ政治上ノ觀念トシテ見ルモノアリ或ハ之ヲ法律上ノ觀念トシテ見ルモノモアルノデアリマス夫故ニ等シク地方ノ自治ト申マシテモ其ノ觀念点ニヨリテ意義ヲ異ニスルノデアリマシテ獨乙等ニ於キマシテモ之ハ自治ト云フコトハ政治上ノ觀念ニスギヌモノデアルト云フモノモアルシ又或ハ單ニ法律上ノ觀念デアルト云

フモノモアル、又或人ハ双方ヲ合シテ自治ハ政治上ノ觀念デモアリ又法律上ノ觀念デモアルト云フノデアリマス
私モ此最後ノ見解ヲトリマシテ政治上竝ニ法律上ノ意義ヲ有スルモノデアルト信スルノデアリマス
元來國家カ其ノ獨特ノ目的ヲ達セントスルニ當リマシテハ或点ニ於テハ個人ト同一ナルコトモアルガ又或点ニ於
テハ異ナルモノモアルノデ個々ノ人カ集テ國家ヲ作レバ自ラ其ノ國家特有ノ目的カ出來ルモノデアルト云フコト
ハ前述シタ通りナノデアリマス、而シテ此ノ目的ヲ達スルカ爲メ各種ナル活動ヲナサネハナリマセン、此ノ
國家ノ行爲ヲ稱シテ政治ト云フノデアリマス、併シ政治ト云フコトハ單ニ國家ノ目的ヲ到達セントスルト云フコ
トヲ以テ其ノ主眼トスルモノデアリマスカラ一方カラ云フト所謂理想ニナルノデアリマシテ果シテ夫カ理想通り
ニ實現スル事カ出來ルモノデアアルカ否カト云フコトハ更ニ實際ニ就テヨク其ノ利害得失ヲ考ヘ又手段ヲ講究セネ
バナラヌノデアリマス、而シテ如斯場合ニ於テ先第一ニ之等ノ目的ヲ達スルガ爲メナサレル國家行爲ノ内ニ一定
ノ秩序ヲ立テル事カ必要デアリマス、而シテ此ノ統一ヲ保ツ爲メノ最良ノ方法ハ各自獨特ノ行爲ニ對シテ一定ノ
法則ヲ設ケテ之ニ據リテ其ノ行爲ヲナスベキコトヲ定メネバナラヌノデアリマス、此ノ行爲ノ準則ヲ稱シテ法ト
云フノデアリマス、即チ法トハ人類カ政治團體ヲ組織スルニ當リテ其ノ準則トシテ定ムヘキ規則デアリマシテ國
家ノアル所必ス法カアルノデアリマス、夫デナケレ國家アリト云フテモ全ク無秩序デアツテ之ヲ國ノ群衆ト云フ
コトハ出來テモ國家ト稱スルコトハ出來ヌト思フノデアリマス、夫故ニ成文デアルト不文デアルトト問ハズ必ス
何等カノ形式ニ依テ法ナルモノカ國家ニ存シテ居ルト云フコトハ疑フ容レヌコトデアルト思フノデアリマス
以上ヲ綜合致シマスト政治ト法ナルモノハ全ク異ルモノデハナクシテ政治的活動ヲナスニハ必ラス法ヲ必要トス
ルモノデアアル、畢竟スルニ二者ハ或一ノモノヲ双方ノ面ヨリ觀察シタモノデアルトモ云フ事ガ出來ルノデアリマ
ス、故ニ政治上ノ自治ト法律上ノ自治ト云テモ全ク別個ノモノヲ指スノデナクシテ觀察点ノ相違ヨリシテ其ノ意
義ヲ異ニシテ來タノデアリマス、夫故今政治上法律上自治ノ意義ヲ述ブルニ先チテ此ノ兩者カ一國ノ歴史ニ於テ

如何ナル干係ニ於テ立ツタカト云フコトヲ簡單ニ述ベテ見タイト思フノデアリマス、此ノ二者ノ干係ハ時ト場所
ニヨリテ或ハ頗ル密ニ或ハ頗ル粗ナノデアリマス
未タ國家ガ其ノ組織ヲ完全ニシテ居ラヌ時代ニ於テモ既ニ法ト云フモノハ存シテ居ツタノデアリマス、併シ之ヲ
未ダ法ト云フ今日ニ於ルカ如キ形式ヲ備タモノデハナク只謂ハハ慣習トデモ云フヘキモノデアリマス、夫レカ漸
次發達シテ成文ノ形式ヲ有スル様ニナツタ后モ要スルニ之ハ治者ノ法デアツテ一國ノ君主カ絕對ニ一般政治ニ就
テ其ノ權力ヲ恣ニシテ行フノ一ノ準則ニスキナカツタノデアリマス、夫故賢君ガ出シハ一國ハ甚タシク隆盛ニ
赴クノデアリマスカ之ト反對ニ暗主ヲ迎エタ國ハ忽チニシテ滅亡ニ向フト云フコトアラアルノデアリマス、併シ
乍ラスクノ如キ據ラシムベク知ラシムベカラズノ政治ハ到底何時マデモ之ヲ續クベキモノデハナイノデアリマ
シテ何時シカ其ノ反動ヲ來シ國民ノ自覺ヲ生シ吾々國民ハ決シテ盲目的ニ君主ニ服從シテ其ノ意思ニ左右サルベ
キモノデハナイ、何レモ一個ノ人格ヲ有スルモノデアツテ自己ノ利益ヲモ主張スルコトガ出來カクシテ國家ソノ
モノノ發展ヲモ見ルコトカ出來ルノデアルト云フノデアリマス、國家ハ決シテ君主一個人ノ私有物ニアラズ國民
全体ノモノデアルト云フ思想ガ盛ニナツテ來タ、之即チ自治ノ起ル所以デアリマシテ之ニ連レテ所謂法治國ナル
觀念ヲ生シテ來タノデアリマス、法ハ只君主カ自己ノ行爲ノ準則トシテ定メタモノデハナイ、之ハ全國民ノ行爲
ノ準則トナルヘキモノデアアル、夫故ニ國民タルモノハ必ス之ヲ遵守スヘキ義務ヲ有スルト共ニ又一方ニ於テハ此
ノ法ニヨルニアラサレバ國民タルモノハ自己ノ權利利益ヲ侵害セラルコトナシトスルノデアアル、併シ之ヲ極端
迄進メテ行クト云フコトハ又弊害ヲ生スルノデアリマシテ夫故或程度迄ハ自治ヲ認メ或程度迄ハ國家カ指揮監督
ヲナシ單ニ凡テノ事皆法ニヨリテ行フト云フト雖モ又時トシテハ自由丈量ヲ許シテ其間ノ調和ヲ計ルコトモ亦必
要デアリ又當ヲエタル方法ト思フノデアリマス、夫故ニ或ハ自治ト云フコトハ法律ヲハナレテ自分ガ勝手ニ其ノ
地方ノコトハナシウル自治デアアルカラ時トシテハ法ヲ無視シテモ構ハヌト云フ暴論ヲサヘ聞クコトハ頗ル意外デ

アリマシテ國家ハ一般ニ遵守スベキ準則ヲ定メタノデアツテ自治ト云フコトモ亦此準則ノ内ニ於テ始メテナサルヘキモノデアルト思フデアリマス、

第三章 自治ノ政治上ノ意義

政治ト法律ノ區別ハ以上述ヘタ通りデアリマス、仍テ更ニ次ニ政治上ニ於ケル地方自治ノ意義ヲ申上ケウト思フノデアリマス、夫ニハマズ一國ノ政治行爲ノ最重要ナル点ハ其ノ國ノ目的ノ那邊ニ在リヤト云フコトデアリマシテ之ヲ單ニ政治問題トシテ考ヘタナラバ如何ニシタナラバ此ノ目的ヲ最モヨク達スルコトガ出來ルカト云フコトデアル、故ニ此ノ政治上ノ目的ニ對シテハ實際ノ場合ニ於ケル法律制度ノ如何ト云フコトヨリモ寧ロ政治的理想トシテ如何ナル方針ニ依ルベキモノデアルカラ示スモノデアルト云ハキナラヌノデアリマス、夫故政治上ノ觀念ト一方直チニ之ヲ以テ凡テノ實在ノ場合ニ適用スルコトガ出來ル法律上ノ觀念トハ之ヲ區別シテ論セキハナラヌコトニナルノデアリマス、勿論夫故政治論ノミニヨリテ之ヲ行フコトヲエヌハ言フ俟タナイノデアリマシガ又一方ニ於テハ政治論トシテ自治ノ如何ナルモノナルカト云フコトヲ知ルコトモ無用ノ業デナイト思フノデアリマス、然ラバ政治上ノ自治ノ意義如何ト申シマスト要スルニ上述シタ沿革ニ充テ之ヲ二様ノ意義ヲ有シテ居ルト云フコトガ出來ルト思フノデアリマス、

マヅ第一ニハ

自治ハ專任ノ官吏ニアラザルモノヲシテ地方行政ノ事務ニ與ラシメ之ヲ以テ其ノ主タル要素トナスベキコト此ノ点ハ主トシテ英國風ノ自治ノ沿革ニ出ルモノデアリマシテ夫故當然英國ノ自治ノ意義ハ如斯解スルコトガ出來ルノデアリマス、之ヲ語ヲ換エテ申シマスト專任ノ官吏ニアラザルモノ即チ名譽職ヲシテ地方行政ノ事ニ當ラシムルノデアリマス、名譽職トハ專務職ニ對スルモノデアリマシテ他ニ自己ノ本業ヲ有スルモノニシテ傍公ノ勤

務ヲ負擔スルモノヲ云フノデアリマス、吾國ニ於テモ名譽職カ地方行政上重要ナル地位ヲ占メテ居ルコトハ勿論ナノデアリマス、併シ之ヲ專ラ要素トスベキヤ否ヤニ干シテハ尙疑ヲ存スルノデアリマシテ後ニ詳シク述ヘタイト思ヒマス、次ハ

成ルヘク地方團體ヲシテ或限度ニ於テ國家ヨリ獨立ナラシムルコト

即チ地方團體ナルモノハ之ヨリ國家ノ一部分ナルコトハ爭ヲ容レヌノデアリマスガ尙其ノ地方ニ依リテ事情ヲ異ニシ又利害ノ反スルコトモ少クナイノデアリマス、夫故仮令全体ニ於テ統一ヲ必要トスルモノナリト雖モ凡テノ事全國均一ニナスコトハ到底之ヲ行フコトハ出來ナイノデアリマス、時ト場合トニヨリテハ各々其ノ地方ニ適合シタ方法ニヨリテ之ヲ行ハキナラヌ、夫ニハ矢張或程度ニ於テハ地方ノ獨立ト云フコトヲモ認メテ一定ノ範圍ニ於テハ國權ト雖モ濫ニ之ヲ犯スコトヲエヌ確乎タル地位ヲ與フルコトカ必要ナノデアリマス、政治上自治トハ如何ナルモノデアアルカト申シマスト以上述ベタ様ナ二ノ意義ニ之ヲ解釋スルコトガ出來ルノデアリマス、併シ自治ト云フコトガ必ズ之丈ノ意義ヨリ有シテ居ラヌ又必ズ之丈ノ事ハ其ノ意義中ニ有シテ居ルベキデアアルカト云フコト決シテソウ云フ譯ニハユカヌノデアリマス、斯クノ如キ意義ノ自治ハ所謂純然タル政治上ノ意義トシテハ之ヲ容ルルコトヲエルノデアリマスガ之ヲ實地ニ於テ行フ場合ニ於テハ必ズシモ此ノ通り行フコトガ出來ナイノハ勿論デアリマス、先述ノ通り法律ト政治ノ干係ハ全然別個ノモノデハナイノデアリマスカラ政治ヲ行フニ當ツテモ必ズ其ノ元々所ハ法律デアアル夫故ニ仮令政治上ノ自治ノ意義ヲ決定スルコトモ更ニ之ヲ法律上ノ意義ニ於テ決定セヌ以上ハ之ヲ以テ實際ニ適合セル自治ト云フコトヲエナイハ當然デアリマス、夫デ更ニ次章ニ法律上ノ自治ヲ論シテ見タイト思ヒマス、

第四章 法律上ノ自治ノ意義

法律制度トシテ自治ヲ見ルルハ單ニ政治上ノ意義トシテ之ヲ定ムルモ更ニ限定的ナル具體的ナルモノトナ
ラテハナラヌノデアリマス、法律ハ之ヲ可成限定シテ各個ノ場合ニ適合スル様ニ定ムヘキモノデアリマス、何レ
ニモ之ヲ適用スルコトガ出來ル様ナ漠然トシタモノデハ切角法律ヲ定メ人ヲシテ之ニヨラシメントスル本旨ニ合
セスコトニナルノデアリマスカラ只今自治ヲ法律上ノ意義トシテ定義スルニ當リマシテモ單純ナル政治上ノ觀念
タル場合トハ異リテ嚴格ニ之ヲ定メテバナラヌコトニナルノデアリマス、

説明ノ便利ナル方法トシテ先第一ニ先述シタ政治上ノ自治ノ意義ナルモノヲ引テ之ヲ今日法律制度トシテ施行ス
ルニ當リテ如何ナル点ニ於テ之ト相異ヲ來スカト云フ事ヲ見タイト思フノデアリマス
第一ニ政治上ノ自治ノ觀念ニ在テハ可成專任ノ官吏ニアラザルモノヲシテ國權ノ行使ニ參與セシムト云フノデア
リマス、サテ實際政治ヲ行フニ當テ法律制度トシテ果シテ此ノ通り行フ方ガヨイカト申シマスト名譽職モヨイカ
又之ト同時ニ專任ノ官吏ヲモオカテ實際ノ政治ノ運用ヲ妨グルコト少クナイノデアリマス、夫故政治上ノ理想
トシテハ可成名譽職ニヨルヲ可トスルト云フコトハ云ヒ得ルノデアリマスカラ之ヲ以テ法律上ノ觀念トシテ法律制度
トシテ行フニ當リマシテハ斯クノ如キ意義ヲ絕對ニ貫クト云フコトハ不可能ナノデアリマス

而シテ第二ニ可成地方團體ヲシテ中央國家ヨリ獨立セシムルコトガ政治上自治ノ觀念デアリマスカラ之トテモ亦之
ヲ極端ニ押シ通スルハ地方團體ノ完全ナル獨立ト云フコトトナリ其ノ結果ハ國內ノ此處彼處ニ完全ナル獨立國ヲ
生ズルコトトナリ爲ニ反テ一國ノ統一ヲ危クスルコトニナルノデアリマス、之デハ地方自治ヲ目的トシテ反テ地
方專制トデモ申スコトニナリ甚ダ不都合ナ結果ヲ來スヲ免レナイノデアリマス
然ラバ法律上ノ觀念トシテ更ニ地方自治ト云フコトヲ考ヘテ見ルルハ之ヲ如何ニ定義スベキデアリマセウカ、法
律上ノ觀念トシテ之ヲ定義スルルハ

自治トハ國家直接ノ行政ニ對シ國家内ノ團體ガ獨立セル意思ヲ以テ與ヘラレシ權限内ニ於テ行フ行政デア
ル

ト云フコトニ歸着スルノデハナイカト思フ、即チ一般政治ト云フモノハ國家主權者ニヨリテ行ハレルノヲ通常ト
スルノデアリマス、然ルニ此ノ原則ニ對シテ必ズシモ常ニ國家主權者ガ之ヲ行ハテバナラヌト云フコトモナシ又
實際ノ必要上ニ於テモ各地方ヲ異ニシテ居ルルハ其ノ地方ヲシテ之ヲ行ハシムルト云フコトガ必要ナノデアリマ
ス、夫故國家直接ノ行政ニ對シテ國家内ノ團體ノ行政ナルモノヲ認ルコトガ出來ル之ガ即チ地方自治デア
ル地方自治ト云フ意義ハ單ニ國家直接ノ行政ニ對シテ地方カ自ラ行フ行政ト云フニ止ラズシテ之ト同時ニ獨立シタ
ル意思ヲ以テ之ヲ行フト云フコトニアルノデアリマス、假令夫カ國家ノ直接ノ行政デハナクモ其ノ意思ノ發動
ガ國家權力ノ支配スル所ニ元キ万事之ニヨリテ定ルモノトシタナラバ決シテ之ヲ自治ト云フコトハ出來ナイノデ
アリマス、全ク其ノ國體カ自己ノ獨特ノ意思ノ發動ニヨリテ其ノ地方ノ事務ヲ行フモノデナクハナラヌノデア
リマス、而シテ次ニハ此ノ團體ノ行爲ハ行政行爲デナクハナラヌノデアリマス、行政行爲トハ何デア
ルカト申
シマスト一言ニシテ云フルハ法的手段ニ依テ或人格ガ其ノ生活目的ヲ達スル爲ニ働ク永續的ノ動作デア
ル、即チ
之ニ依テ見ルルハ行政ノ觀念ノ要素ヲナスモノハ主体手目的ノ三者デアリマス

行政ノ主体トハ何デア
ルカト申シマスト此ノ行政作用ヲナスベキ人格ヲ云フノデアリマシテ此ノ働ヲナシウベキ
權能ヲ行政權ト云フノデア
リマス、手段ハ法的ノ手段ニヨルトハ即チ万事カ法律ノ規定ニヨルベキモノデア
リマ
シテ今日ノ國家組織ニ於テ且之ヲ法律上ノ觀念トシテ見ルルニ於テハ凡テノ行政ノ作用カ之ニヨリテ發動スヘキ
デア
リマス、夫故ニ行政行爲ハ其ノ手段トスル所ハ此ノ法律ノ力ニヨル所カ多イノデアリマス、次ニ

目的ハ其ノ主体タル人格即チ時トシテハ國家又時トシテハ公共團體ガ自己ノ特有ナル生存ヲ全クシ其ノ發達ヲ
シテ圓滿ナラシメントスル目的ヲ指スモノデア
リマス
以上ノ三要素ヲ具備シテ始メテ行政ナル觀念ハ成立スルノデア
リマスカラ地方自治ト云フコトモ亦一ノ行政デア
ル
ヨリハ此ノ三要素ヲ具備スベキモノデア
ルト云フコトハ疑ヲイレナイノデア
リマス、併シ地方自治ノ場合ニ於テ

ハ更ニ之ニ加ルニ尙其ノ特色トシテ自治權ノ上ニ立ツベキ優越ナル權力カ必要ナノデアリマス、即チ國家ノ主權ガ自治權ノ上ニ立テ更ニ有力ナル權力トシテ之ニ絶對ニ服シ其ノ内ニ於テ始メテ自治ノ境地ヲ發見スル事ガ出來ルノデアリマス、從テ自己ノ上ニ尙優レタルモノヲ有シテ居ラナイ團體ニハ自治ナルモノハナイノデアリマス、例セバ主權ヲ有スル國家ハ決シテ自治團體デハナイ、自治團體ト云フモハ必ス國家主權ノ如キ優越ナル權力ノ下ニ立テ之ニ服從シ或範圍ニ於テ自己ノ權力ヲ行フコトヲ許サレテ居ル下級團體ヲ指スノデアリマス、故ニ此ノ結果トシテ自治體カ成立スルニハ必ス主權者ガ之ヲ認ムルコトヲ必要トスルノデアリマス

以上ノ四要素ヲ包含スル行政ヲ稱シテ之ヲ自治行政ト云フノデアリマス

只今迄申上ケマシタ所ニヨリマシテ畧自治ナルモノガ法律上如何ナル意義ヲ有シテ居ルカ又此ノ解釋ハ如何ナルコトデアアルカト云フコトヲ盡シタ積デアリマスガ之ト同時ニ自治行政ト云フコトノ特色ハ簡單ニ見度イト思フノデアリマス、夫ハ先ヅ

第一ニ自治行政ノ主体ハ主權ヲ有セザル政治團體デアアルコト、併シ主權カナイト云フコトハ必スシモ全然權力ナイト云フコトデハナイノデアリマシテ地方團體ト雖モ亦一個ノ權力ヲ有シテ居リマス、此ノ權力ハ主權ノ如ク絶對無限ノ權力デハナイガ此ノ絶對無限ノ國家權力ノ下ニ服從シテ之ニヨリテ定メラレタル範圍内ニ於テ其ノ團體内ニ對シ命令強制ヲナシウル權力デアアル、夫故此ノ權力ヲ有スルト云フコトガ第一ニ國家ノ如キ權力團體ト異ル点デアアル

第二ニ自治體ハ自己個有ノ事務ヲ有スルコトデアアル、自治體ノ事務ヲ分チテ固有事務ト委任事務トスルコトガ出來マス、固有事務トハ即チ其ノ團體及團體員ノ公共ノ利益ノ爲ニナス事務デアリマシテ之ニ反シテ委任事務トハ團體ニ直接ノ干係ヲ有セナイニモ掛ラズ團體ニ對シテ國家其他ノ團體ヨリ其ノ事務ヲ委任セラレタル所ノモノデアリマス、夫故如何ナル自治體ト雖モ必ズ其ノ自治體自身ノ爲ニスル事務ヲ有スルコトハ一ノ特色デアリマス

第三自主權ヲ有スルコト、之ハ即チ國家ニ於ケル立法權ニ相當スルモノデアリマシテ元來自治ト云フコトハ行政上ノ問題デアアル、即チ立法司法ノ如キ事務ニハ干係ガナイモノナノデアリマス夫故ニ司法權ノ如キモノハ自治體ニ於テ之ヲ行フト云フコトハ全然ナイノデアリマスガ立法ノ事務ニナリマスト各地方其ノ狀況ヲ異ニシテ居リマスカラ之ヲ一率ニ定メタル法律命令ノミヲ以テ之ヲ行フト云フコトヲエヌ場合モ亦少クナイノデアリマス從テ之カ爲ニハ各地方相當ノ規定ヲ設ケシメル方ガ適當ナリト云フ事由ヲ以テ或ハ條例ノ如キ又ハ規則ノ如キモノヲ設ケテ之ニヨツテ其ノ地方ノ行政ヲ行ウノデアリマス、之ヲ自主權ト云フノデアリマス、此ノ自主權ニヨリテ自己ノ内ニ於テ法規ヲ定メルト云フ点ニ於テモ亦一ノ特色ヲ有スルノデアリマス

以上ノ諸点ニ於テ自治行政ハ其ノ特色ヲ有シテ居ルノデアリマス

第五章 法人論

以上ニ依テ自治體ナルモノノ法律上ノ性質及其ノ特色ヲ知ルコトカ出來タノデアリマスカ本章ニ於テハ此ノ自治體カ人格ヲ有スルモノデアアル即チ法人デアルト云フコトニ就テ一言シタイト思フノデアリマス、自治體ハ法人デアルト云フコトヲ屢云フノデアリマスガ、法人トハ如何ナルモノデアアルカ先ヅ法人ノコトカラ申上ケル必要ガアルト思フノデアリマス

法人トハ如何ナルモノデアアルカト云フコトニ就テハ古來ヨリ諸說紛々デアリマシタ一定シタル定義ヲ與ヘルコトハ今日尙困難ナノデアリマス、併シ其ノ學說モ今日ニ於テ大体左ノ三ニ分ツコトガ出來ルカト思フノデアリマス

第一説、權人擬制説 此説ノ本旨トスル所ハ法ノ擬制ニ依リ法律上ノ人トセラレ、モノデアリマス、此ノ説ノ根本ハ權利ノ本質ハ意思ノ力デアルト云フ点ニアルノデ自然ノ人デナイモノハ意思ノ力ヲ有シテ居ラス、夫故ニ自然ノ人ニアラザルモノハ法律上ノ人格ヲ認ムルコトハ事實不可能デアアル、然ルニ社會生活ノ實際ニ於テ自治體ノ如キ又ハ會社ノ如キ自然ノ人ニアラザルモノニモ權利ノ主体トシテ法人格ヲ認メルコトガ必要デアラカラ法ハ法理上當然ニ有スベキモノデハナイケレドモ其ノ万能力ヲ以テ意思ノ力ノナキモノニモアルモノノ如ク假想シテ之ヲシテ權利ノ主体トラシメタノデアリマス、而シテ之ヲ稱シテ法人ト申スノデアリマス、併シ此ノ説ノ當ヲ得テ居ラヌト認メラルル点ハ此説ニヨルト意思ノ元來ナキモノヲ法ガアルカノ様ニ見做シテ之ニ人格ヲ認ムルト云フノデアリマスカラ根本ハ矢張ナイノデアアル如何ニ法ハ万能ナリト雖モ無ヨリ有テ生スルト云フコトハ出來ナイモノデアリマス法ハ只自然ヲ根據トシテ定ムベキモノデアリマシテ法人ト雖モ必ズシモ無ヨリ生シタモノデハナイ單ニ法ノ擬制ニ依テ定メラレタルモノデアルト云フコトハ少シク穩當ヲ欠ケルモノト云ハネハナラヌト思フノデアリマス

第二説、法人否認説 此説ハ法人ナルモノハ全然存在シテ居ルモノデナイノミナラズ法ノ上テ法人ト云フモノヲ認ムルト云フコトモ亦誤テアル、若シ法人ナルモノヲ前述ノ如ク意思ノ力ナリトセハムシロ之ヲ全然否認スル方ガ可テアルカモ知レヌノデアリマスカ併シ全ク法人ナルモノガ實際存在シテ居ラヌナラハバ知ラズ今日ノ如ク法律上明カニ法人ヲ認メテ居ルキニ於テ之ヲ全然否認スル事ノ實際ト一致セヌ空論ニ過キヌカラ之モ亦トルコトヲエヌノデアリマス

第三説、法人實在説 此説ニヨルキハ法人ハ實際ニ存在シテ居ルノデアリマス、夫ガ實在シテ居ルモノニ對シテ法ハ單ニ其ノ實在セルコトヲ法ノ上ニ於テ認識シ之ヲ言明セルニシギナイノテ何モ法ガアツテ始メテ人格ヲ生スルト云フコトハナイノデアリマス、即チ法ハ假想ヲ以テ法律上ノ人格ヲ擬制スルモノテハナクシテ實際存在シテ居ルモノニ對シテ法律上ノ人格ヲ認メタテノデアリマシテ此ノ点ニ於テハ自然ノ人モ亦異ル處ガナイノデアリマス、

自然ノ人ト雖モ只生レタ許リノ肉體ノミ人間デハ決シテ之ニ法律上ノ人格アリト云フコトヲ得ナイ、法律上ノ人格者タルニハ矢張法ニヨリテ認識サルコトヲ必要トスルノデアアル、只其ノ異ル處ハ自然ノ人ナル肉體ヲ有スルモノニテヲ認メ地方ニアリテハ肉體ナキモノニ法人格ヲ認メルト云フニシギナイノデアリマス

現在ニ於テ最モ勢力ヲ有シテ居ルモノハ此ノ實在説デアリマス、抑モ凡テ法ハ人類ノ利益ヲ保護スルガ爲ノモノデ隨テ權利モ亦專ラ人類ノ利益ノ爲ニ認メラルモノデアアル事ハ勿論デアアル、デアアルカラシテ權利ノ主体タリウベキモノハ人類ノ外ニナイ事モ疑ヲ容レナイノデアリマス、然シ人類ト云フモノハ必ズシモ單ニ一個人ノミヲ指スノデハナイノデアリマシテ法ハ更ニ多數人類ノ集合トシテハ一社會ノ利益ヲモ保護セネハナラヌコトハ勿論ナノデアリマス、此ノ場合ニ於テハ單ニ一個人ノミガ權利ノ主体トナルモノニアラズシテ一ノ團體社會ガ權利ノ主体トナルノデアリマス、而シテ此ノ團體ナルモノハ全ク個人ト異リタル一種獨特ノ利害干係ヲ有シ又特別ノ權利ノ主体デアアルカラ之ヲ以テ一ノ法人格ヲ有スト認ムルコトモ亦止ムヲ得ナイノデアリマス、人間ノ生命ニハ限ガ

アツテ人類ノ生存ノ目的ヲ各一個人ノ孤立的ノ力ヲ以テ達スルコトハ決シテ不可能ナノデ多數ノ人カ相結合シテ其ノ共同ノ力ヲ以テ共同ノ目的ヲ遂行スルニ依テ仮令一人ノ死後ニ於テモ其ノ子孫又ハ他ノ繼承者ガ尙同一ノ目的ヲ遂行スルヲ以テ能ク人類ノ利益ヲ達スル事ガ得ラレルノデアリマス、人類ガ斯クノ如ク共同生活ヲナスコト云フコトハ事實デアツテ何人モ否認スベカラサルコトデアリマス、所謂法人トハ此ノ實在現象ニ元キ法カ之ニ權利能力ヲ認メタモノデ之ヲ以テ見テモ決シテ擬制説ヲトルコトヲエズ、寧ロ之ハ實在説ヲトルベキモノデアルト思フノデアリマス

法人ヲ大別シテ公法人私法人トスルコトハ通則デアアルガ如何ナル標準ヲ以テ之ヲ區別スベキカト云フコトハ今日尙種々ノ議論ガアルノデアリマス、其ノ内最モ簡單ニ區別ヲ述ブルモノハ公ノ事務ヲ目的トスル法人ハ公法人デアリ私ノ事務ヲ目的トスル法人ハ私法人デアルト云フノデアリマス、併シ此ノ區別ハ簡單デハアルガ明瞭ヲ欠イ

テ居ル、夫故更ニ進ンデ何ヲ以テ事務ノ公私ヲ分ツカト云フコトニナルト再ビ此處ニ公私ノ區別ヲ論セテハナラヌコトニナリ問ニ答フルニ問ヲ以テスルノ嫌ガアル又等シク同一ノ事務ニシテ例セバ學校教育ノ事務ノ如キハ官公立ノ學校ニ於テハ之ヲ公ノ事務ナリトシ私立ノ學校ニ於テハ之ヲ私ノ事務ナリトシテ居ルノデアリマス、夫故單ニ事務ノ性質ノミヲ以テ之ヲ決定スルコトハ甚ダ不安定ナル、ソコデムシロ單一ナル標準ニ依テ區別スルヨリモ之ヲ全体ニ涉テ各般ノ方面ヨリ見テ此ノ區別ヲナスヲ至當ナリト信ズルノデアリマス、先ヅ

第一ノ標準トシテ國家ニ對シテ其ノ目的ヲ遂行スル義務ヲ有スルモノヲ公法人トシ然ラザルモノヲ私法人トス即チ公法人ハ國家ノ事務ノ一部ヲ行フモノデアリマスカラ從テ國家ニ對シテ其ノ責任ニヨル事務ヲ遂行シテ其ノ目的ヲ達スル義務ヲ有スルニ反シテ私法人ハ元來ノ目的トシテ行フ所ノモノハ私法人自身ノ目的デアアル夫故其ノ目的ヲ達スルヤ否ヤト云フコトハ決シテ國家ト直接ノ干係ハナイノデアリマスシテ之ヨリシテ其ノ成否ニ就テモ亦國家ハ義務ヲ負フヘキモノデナイト思フノデアリマス、併シ乍ラ此ノ區別モ亦凡テノ場合ニ適合スルカト云フト決シテソウデハナイノデアリマスシテ私法人ノ行フ事務ト雖モ又時トシテ國家ニ對シテ其ノ目的ヲ遂行ノ義務ヲ有スルモノ少クナイノデアリマス夫故之ノミニヨル事モ亦不可能デアリマス

第二ノ標準トシテハ公法人ハ權力團體デアアルコトニアルト思フノデアリマス、即チ私法人ハ權力又ハ強制力ヲ行使スルコトハ出來ナイガ公法人ニ在リテハ其ノ團體員ニ對シテ權力ヲ以テ臨ミ又之ニ對シテ服從セテハナラヌノデアリマス、例セハ市町村ニ於テハ其ノ市町村民ニ對シテ地方稅ヲ課スルコトカ出來ル、而シテ若シ之ヲ納付セザルモノアル場合ニ於テハ國稅徵收法ニヨリテ之ヲ強制スルコトカ出來ル其他條例ヲ出シテ其ノ住民ニ各種ノ負擔ヲ命ズルコトモ出來ル、併シ之モ凡テノ場合ニ於テソウデアアルカト申シマス例ヒハ會社ノ如キ私法人ニ在テモ其ノ株式ノ拂込ヲ請求スルコト云フカ如キ場合ニ於テ多少權力の干係ニ立ツ場合モ少クナイノデアリマス以上ノ通りデアリマスカラシテ之等各種ノ標準ハ何レモ夫ノミヲ以テ公法人私法人ノ區別ノ標準トスルコトハ出

來ナイノデ之等凡テヲ綜合シテ各般ニ涉テ之ヲ定ムルノヲ至當ト信ズルノデアリマスソコデマツ次ノ標準ニ定義ヲ下シタナラハヨイカト思フノデアリマス

公法人トハ國家ノ行政ニ直接間接ニ關與シ其ノ目的ノ遂行ノ爲ニ國家ニ對シテ義務ヲ負フ權力團體デアアル之ニ依テ自治体ヲ見ルキハ自治体ハ國家行政ノ一部ヲ行フモノデアアルカラ公法人デアルト云フコトガ出來マス、又自治体ハ國家行政事務ヲ行フモノデアアルガ決シ其ノ自治体自身ノ勝手ニ之ヲ行フベキモノデハナイノデアリマシテ其ノ事務ヲ完全ニナスト云フコトハ其ノ自治体ノ責任ニ屬スルノデアリマス、此ノ意味ニ於テモ亦公法人デアルト云フコトヲウルダロト思フノデアリマス

次ニ公法人ノ種類ヲ申上ゲマスト公法人ハ之ヲ大別シテ國地方團體公共組合及公ノ營造物法人トスルノデアリマス、民法ハ法人ヲ分ツテ社團法人ト財團法人トスルノデアリマスカ之ニ從フキハ國地方團體及公共組合ハ社團法人デアリ公ノ營造物法人ハ財團法人ニ屬スルト云フコトガ出來ルノデアリマス

一、國 國ヲ以テ一ノ法人トナスヤ否ヤニ干シテハ議論ノ存スル處デアリマシテ或論者ハ國家ハ多數ノ人カ生存ヲ全ウスルカ爲ニ造ヘタニスギナイモノデアアルカラ夫自身ニ於テ一ノ人格ヲ有シテ居ルノデハナイト云フ、併シ國家ニハ個人ヲハナレタ國家獨特ノ目的ヲ有スルノデアアルカラ全ク國家ニ人格カナイトハ云フコトカ出來ナイ夫故國家モ亦一ノ公法人デアルト云フコトガ出來ルノデアリマス、處カ之ニ對シテ近頃國家法人說ト云フノガアル、其ノ說ク所ハ國家ニ人格ヲ認ムルト云フコトハ即チ國家カ主權ノ所在デアアル即チ國家主權說ト云フコトニナルノデアリマス從テ君主ハ決シテ主權ノ所在デハナイ矢張り其ノ國家ノ一ノ機關ニスギナイモノデアアル最高ノ機關デアルト云フ說デアリマス、併シ國家ニ主權ガアルト云フハ之ヲ肯定スルコトカ出來ルノデアリマスガ之ニヨリテ直チニ君主カ主權者デナイト云フコトハ出來ヌ國家ナル法人ニ於テ其ノ意思ノ力タル主權カ實際ニ存在シテ居ル處ハ國家以外ニ何カナケレバナラヌ之カ即チ君主ナノデアリマス、即チ矢張り君主ハ主權者デアルト云フコ

トガ云ヘルノデアリマス

二地方團體 地方團體ハ國家ト同ジ様ニ或意味ニ於テ一個ノ領土團體ト云ヘマス、蓋シ領土團體トハ或一定ノ地域ガ團體ノ構成要素ニナリ領土權ヲ團體カ有スルコトデアリマス、領土權トハ或一定ノ地域ニハ他ノ權力カ自分ノ意ニ反シテ行ハルルコトヲ許サズ又領土内ノ住民ニハ統一權力ヲ及ボスモノデアリマス

地方自治体ト國家トハ等シク領土團體デアルト云フコトヲ以テ其ノ特色トスルノデアリマスガ其ノ異ル点ハ何ヲアルカト云フト一ハ絶大無限ノ主權ヲ有スル權力團體ナルニ反シテ他ハ國家ノ下ニ於テ或程度ニ於テ許サレシ範圍内ニ於テ權限ヲ有スルニスギヌノデアアル

然ラバ吾國ノ法制上地方自治体トハ如何ナルモノヲ指シテ云フカト申シマスト之ヲ普通地方團體ト特別地方團體ト別チマシテ縣、郡、市町村ノ如ク全國ヲ通ジテ定メラレタルモノハ普通地方團體ト之ニ對シテ或地方ニ限リ特別ニ置カレタル團體例セハ郡組合北海道ノ町村、沖繩縣ノ町村ノ如キモノヲ以テ特別地方團體ト云フノデアリマス

三公共組合 公共組合ハ前二者トハ大分異テ居ルノデアリマシテ一言セバ公共組合トハ或一定ノ團體ニ依テ特別ノ目的ヲ達スルガ爲組織セラルルモノテアル例セハ農會トカ水利組合ノ如キモノテアリマシテ地方自治体ハ一個ノ領土團體トシテ其ノ範圍内ニ於テハ凡テノモノニ對シテ其ノ權力ヲ及ボスコトガ出來ルノニ對シテ公共組合ノ場合ニ於テハ其ノ組合ノ地域内ニ於テ組合ノ目的ヲ事業トスルモノニ對シテハ之ヲ強制加入セシムルコトガ出來ルノデアリマス

四公ノ營造物法人 民法ハ法人ヲ社團法人ト財團法人トニ分ツノデアリマスガ此ノ二者ノ異ル点ハ社團法人ハ人ノ集合テアリ財團法人ハ財産ノ集合テアルト云フノデアリマス、併シ之ハ只表面上ニ於テ平易ニ云タノニスギナイノデアリマスガ財團法人ニ於テモ財産ソノモノガ直チニ權利ノ主体タルモノデハナクシテ矢張其ノ主体ハ人デアアル、夫故公法上ノ財團法人タル營造物ニ於テモ其ノ主体タルモノハ人デアアルコトハ之ヲ疑フコトヲユナイノ

デアリマス

社團法人トシテ營造物ハ國家ノ事業團體ノ事務ヲ行フ上ニ於テ權利義務ノ主体トシテ許サレテ居ルノデナクテハナラナイノデスガ吾國ニ於テハ獨立ノ人格ヲ有スルモノ少ク其ノ主体ハ國家又ハ地方團體デアツテ營造物タル學校ノ如キハ其ノ主体デハナイノデアアル

結 論

自治ノ觀念ニ就テ政治上法律上ノ意義ハ以上申シ述ベタ處ヲ以テ盡シテ居ルト思フノデアリマスガ單ニ自治ノ語ヲ學義通ニ解釋スルルハ即チ自己ノ事務ハ之ヲ他人ニヨルトナク自身ニ於テ之ヲ行フコトヲ云フノデアリマス併シ之ヲ地方自治ノ如キコトニ及ボシ政治上ノ主義トシテハ第一成ルベク地方團體ヲシテ國家カラ獨立セシムルト共ニ第二ニハ其ノ事務ヲ行フニ專任ノ國家ノ官吏ヲシテ行ハシムルト云フコトヲ特色トスルノデアリマスガ併シ乍ラ如斯政治上ノ意義ニ元キテノミ自治ヲ定義スルルハ之ヲ政治上ノ理想トシテ見レバ或ハ可ナランモ更ニ進ンデ實際ニ於ケル行政上ノ組織トシテ又法律制度トシテ之ヲ見ルルハ決シテ如斯單純ナル意義ヲ以テ之ヲ貫クコトハ出來ヌノデアリマス

第一自治制度ハ地方團體ヲシテ國家ヨリ獨立セシムルコトヲ本旨トスルモノデアリマスガ地方團體ガ絶對ニ獨立シタトシタナラハ是ハ最早地方團體デハナクシテ完全ナル獨立國デアアル、自治團體ガ發達シタ結果國家カ滅亡スルコトニナルノデアアル或一派ノ社會主義者ノ如キモノハ國家ノ如キモノハ只個人ノ生存發達ヲシテ成ルベク有効ナラシメンガタメノ手段ニスギヌノデアアルカラ國家ガ個人ヤ又社會ノ生存上不必要ト認メラルル場合ニ於テハ何時ニテモ其ノ存立ヲ失フモノナリト云フノデアリマスガ私共ハ決シテ國家ガ一個ノ手段ニスギヌモノデハアルマイト思フノデアアル更ニ國家トシテハ獨立シタル生存アリ目的アルモノデアツテ或時ニハ夫カ爲ニ個人ノ利害ヲ犠

牲ニシテモ行フベキモノデアロウト思フデアリマス、即チ自治ハ國家發展ノ方法トシテ或程度迄之ヲ認メタルモノデ全然國家ヨリ獨立スルノデハナク國家カラ獨立スルトハ或程度迄デアリマス又第二ニハ自治ハ專任ノ官吏ニアラザルモノニ行政ヲ行ハシムルト云フノヲ其ノ本旨トスルノデアリマスガ地方固有事務ノ場合ハ多ク名譽職ヲシテ行ハシムルモ差支アリマセンガ國家又ハ其ノ他ノ上級地方團體ヨリ委任サレタル事務ニ就テモ專任ニアラザルモノヲシテ之ヲ行ハシムルトセバ時トシテハ上下統一連絡ヲ欠キ圓滿ナル行政ノ遂行ヲ來スコトガ出來ナイノデアリマス、又名譽職ノ如キモ自分ノ本業ノ傍之ヲ行フモノデアリマスカラ從テ全力ヲ擧ゲテ事務ニ従事スルコトガ出來ヌ場合カ多イノデアアル然ルニ町村ニ於ケル収入役ノ事務ノ如キ余暇ヲ以テ之ヲナスト云フカ如キコトデハ到底完全ニ其ノ職責ヲ盡スコトガ出來ナイノデアアツテ矢張如斯場合ニ於テモ專任ノ官吏ヲ以テ之ニ宛テル方が要ヲ得テ居ルノデアリマス

以上ノ如キ有様デアリマスカラ自治ヲ以テ政治上ノ理想ニ止メ之ヲ政治上ノ觀念ニ過キズトナセバ其ノ觀念ヲ以テ直チニ實地ニ應用スルコト不可能ナノデアリマス之ハ只思考スルニ止ルベキモノデ直チニ之ヲ以テ行政上ノ制度ニ適用シ法律上ノ觀念トスルコトヲ得ナイルデアリマス、故ニ或學者ノ如キハ自治ト云フコトハ法律上ノ觀念トシテアリ得ナイ單ニ純然タル政治上ノ觀念ニスギヌモノデアアルト云フノデアリマス

併シ今日ノ實際ハ法律上ノ觀念ヲモ定ムルコトガ正當デアリ且必要ト認ムルノデアリマスカラ先述ノ如クニ法律上ノ觀念ヲモ定ムルニ至タノデアリマス

以上ニヨリテ法律上並ニ政治上如何ナル意義ヲ有スヘキモノデアアルカ又同時ニ其ノ兩様ノ意義ノ存在スル所以ヲ述ヘタノデアリマスガ更ニ今度ハ進ンデ今日吾國ノ現狀ニ於テ以上ノ意義ニ元キ設ケラレシ自治ナルモノノ眞精神ヲ探リ之ニ依リテ如何ニシタナラバ自治ノ眞面目ナル發展ヲ期スルコトヲ得ルカト云フコトヲ一言シテ本講演ヲ結ビタイト思フノデアリマス

何レノ國何レノ時代ヲ問ハス各國ノ主權者ハ常ニ自ラ全權ヲ統ベ之ヲ行フト云フコトハ事實カ許サレナイノデアリマス、夫故ニ多少ノ程度ニ於テ地方分權ト云フコトガ認メラレテ居ツタト云フコトハ疑フ容レナイ處デアアル、吾國ニ於テモ幕府時代ニ於テモ專政ノ世トハ云ヒナガラ或程度ニ於テ地方ハ獨立シテ町ニハ町奉行ヲオキ其ノ下ニ名主、組頭、百姓代ヲ設ケテ地方ノ事務ヲ處辨セシメテ居タノデアリマス、併シ此ノ制度ハ今日ノ自治トハ大ニ意義ヲ異ニシテ居ルノデアリマシテ所謂專制政治ノ下ニ於ケル地方分權トデモ云フベキモノナノデアリマス

次ニ維新ノ變革ニ依テ幕政ヲ根本的ニ改廢シテ結果舊習打破ノ必要ニ元テ極端ナル中央集權ヲ實行シ凡テノ事務ヲ官吏ニ依テ行ハセル様ニナツタノハ其ノ裡ニ事情止ムヲエナイモノガ有タノデアリマスガ其ノ結果トシテ自治ノ範圍ガ著シク減殺サレタコトハ又止ムヲエナイノデアリマス、併シ宇内ノ大勢ト維新更革後ノ政務ノ實際ハ此ノ現狀ヲ以テ満足スルコトカ出來ズシテ立憲ノ政ヲ布クノ必要アルコトガ漸ク民間ノ思想ヲ支配スルト共ニ當局者モ亦此ノ時勢ニ順應シ他日立憲制ヲ行フノ準備トシテ先地方自治ノ緒ヲ開イタノデアリマス即チ明治十一年ニ府縣會規則町村會規則等ヲ設ケテ各府縣町村獨立シテ其ノ事務ヲトル様ニシタノデアアル、併シ乍ラ之等ハ單ニ町村會府縣會等ニ就キ其ノ基本ヲ定メタノニスギナイノデ固ヨリ時勢ノ進連ニ伴テ之ヲ改正スルノ必要ヲ感シテ更ニ市制町村制ノ發布ヲ見ルニ至タノデアリマス

吾國ノ自治ノ沿革ハ以上ノ通りデアリマス之ヲ要スルニ歐州各國ニ於ケルガ如ク永キ間ノ歴史ガ自然ニ發達シテ之ヲナシタモノトハ多少異テ居ルノデアリマス、夫故ニ全然彼此ヲ同一ノモノトシテ見ルコトハ元ヨリ不可能デアリマスガ尙又其ノ精神ニ於テ之ヲ摸範トシタ点モ尠クナイノデアリマス

依テ歐州各國ノ自治ノ沿革及其ノ意義ニ就テ申上ゲタ如ク吾國ニ於テモ亦獨特ノ意義ヲ有シテ居ルト思フノデアリマスカラ先ヅ今日ノ吾國自治制ノ眞精神ヲ考ヘテ見タイト思フノデアリマス

第一ハ即チ立憲政治ヲシテ其ノ國ニ於テ完全ニ行ハシメントスルニハ先其ノ根本トナルベキ地方民ノ訓練ニ努メ

チハナラヌコトニナルデアリマス、ソコデ其ノ最良ノ方法トシテハ地方毎ニ議會ヲ設ケテ其ノ地方ノ利益ニ干シテ之ヲ議決セシムルコトヲ可トスルデアリマス、之カ第一ノ理由デアロウト思ヒマス

第二ニハ地方公共ノ利益ヲシテ官僚政治及多數党政治ノ區別ヨリ保護スルコトデアリマス、地方ノ利益ト國家ノ利益トハ度々一致セヌ事ガアリマス、此ノ場合ニ於テ中央國家ノ利益ノ爲メニハ地方ノ利益ハ之ヲ犠牲ニ供セキハナラヌコトモ少クナイノデアリマスガ併シ當ニ之ガ爲地方ノ利益ヲ顧ミヌト云フコトモ亦地方ノ健全ナル發達ヲ阻害スルモノト云ハチハナラヌノデアリマス、夫故ニ所謂官僚政治ト云フガ如ク中央政府ヨリ下地方ノ行政官廳ニ至ル迄一貫シテ同一系統ノモノニヨリテ政治ヲサレルコトニナルト云フトドウシテモ地方ト中央トノ干係カウマク行カヌコトガアル又大政黨ノ場合モ同様デアリマシテ其大政黨ガ政柄ヲ据ル場合ニハ万事ガ其ノ大政黨ノ利益ノ儘ニ動クコトニナリ旁之等ノ弊害ヲ防グ爲メニハ地方自治ヲ許ス事ハ又一ノ方法デアロウト思フデアリマス

第三ニ地方人民ヲシテ政治ニ熟練セシメ政治的思想ヲ涵養スルコト、今日ノ時勢ハモハヤ民ハ單ニ被 者ノ境遇ニノミ甘ンズベキモノデアリマシテ更ニ自己モ國家ノ一員トシテ政治ニ參與スベキモノデアアル、併シ因習ノ久シキ容易ニ政治思想ノ發達ヲ期スルコトガ困難デアリマスカラ先自分ガ最モ痛切ニ感ズル地方ノ自治ヲ許シテ其ノ地方ノ行政ヲ行ハシメテ居タナラバ之ニヨリテ漸次圓滿ナル發達ヲ期スルコトガ出來ルデアロウト思フデアリマス

第四ハ可成共同一致ノ精神ヲ固クスルコト、古來ヨリ吾國ノ美風トシテ忠君愛國ト云フコトハ國民ノ腦裏ニ忘ル可ラザルモノトシテ印セラレテ居リマスガ之ト同時ニ一郷一村ノ爲メトカ又ハ公衆ノ爲トカ云フコトニ就テハ頗ル公共的精神ニ乏シイト云フ事モ争フコトガ出來ナイノデアリマス、之ハ何故デアルカ其ノ理由ヲ發見スルニ苦シムデアリマス要スルニ今日ノ如キ時勢ニ於テハ此ノ公共心ノ養成ト云フコトハ最モ努ムベキコトデアルト思フデアリマス

フノデアリマス即チ此ノ公共心ノ養成ト同時ニ又此ノ個人ガ單ニ自己自身ノ事ノミヲ考ヘズシテ更ニ協同一致シテ自己ノ村ヤ郷ヤノ爲ニ盡ス様ニシタイモノト思フデアリマス、如斯シテ地方人民ニ共同一致ノ觀念ヲ養成スルコトニ依テ始メテ自治ト云フコトモ完全ニ行ハルル様ニナルダロウト思フデアリマス

吾國ノ自治ハ大凡右ノ様ナ趣旨ニ依テ定メラレタモノデアリマスカラ各地方ニ於テ其ノ間ニ當ルモノモ皆其ノ意ノアル所ヲ体得シテ其ノ事務ヲ行フタナラバ能ク其ノ成績ヲ擧ゲルコトヲ得ルダロウト思フデアリマス

地方自治トハ以上ノ精神ニ元キ地方ハ地方ニ於テ其ノ利益ノ爲ニ全力ヲ盡シテ之カ遂行ヲ計ルベキデアリマスガ只此處ニ誤解ヲ生ズルコトヲサケタイト思ヒマスノハ此ノ場合ニ於テ地方自治ヲ許サレタルモノハ其ノ事務ニ就テハ絶對ニ自由デアルカノ様ニ考ヘテ凡テ其ノ地方ノ利益ノ爲ニナスベキデモ モ法規等ノ爲ニ其ノ利益ヲ主張スルコトガ出來ヌト云フ様ナ場合ニ於テハ法規ハ單ニ一般抽象的ノモノデアアル事實ガ許サヌハ之ヲ無視シテモ之ヲ主張スルヲ得ルモノデアルト云フデアリマスガ之ハ本末ヲ誤タ議論デアロウト思フデアアル由來國家アリテ始メテ地方自治ナルモノモ存在シテ居ルデアアル、夫故地方一個ノ爲國內ヲ統一シテ之ヲ支配スヘキ法規ヲモ顧ミヌト云フコトヲエナイノデアリマス、一休國家ガ其ノ地方ニ自治ヲ許スニ至タ所以ナルモノハ決シテ漠然ト地方ニ獨立ヲ許シタノデアリマス、法律規則ノ定ムル所ニ依リ其ノ範圍内ニ於テ自治ヲ認メタノデアアル、夫故一方ニ於テハ地方自治体ナルモノハ此ノ法規ノ許ス範圍内ニ於テノミ其ノ自治ノ行動ヲ認メラレテ居ルト共ニ又更ニ他方ニ於テハ國家ハ此ノ法規ニ元キテ各種ノ監督ノ方法ヲ認メテ居ルデアアル、此ノ監督權ノ作用ニ依テ地方自治体ガ果シテ完全ニ其ノ自治ヲ行テ居ルカ否カト云フコトヲ知ルコトガ出來ルデアアル、夫故積極的ニ如何ナル場合ニモ監督スルト云フコトハ許サレテ居ラヌケレド法ノ認ムル範圍ニ於テハ監督官廳ハ自由ニ其ノ權限ヲ以テ之ヲ監督スルコトガ出來ルデアリマス、夫故國家ノ監督ト云フコト自治團體ノ法規ノ範圍内ニ於ケル活動ト相俟テ自治ト云フモノカ始メテ完全ニ實行サレルデアアル

以上ニヨリテ自治ト云フモノト國家トカ如何ナル干係ニ立ツモノデアリカト云フコトヲ畧述ヘタノデアリマス、ソコデ之ヲ綜合スルキハ吾國ノ自治ハ他ノ諸國ノ沿革トハ異リテ國家ガ主動的ニ此ノ制度ヲ設ケタノデアアル、夫デアルカラ吾國ノ自治ハ國家ヲ中心トシテ居ルモノデアアル、國家ヲ無視シテハ決シテ自治ト云フコトモ予想スルコトハ出來ナイノデアアル、夫故ニ万事ハ之ヲ國家ナル觀念ニ發スヘキモノデアリマシテモシモ國家ノ發展ト云フコトニ關係スル場合ニ於テハ決シテ區々タル一地方ノ利益ヲノミ固守スベキモノデハナイノデアアル、斯クノ如ク其ノ本末輕重ヲ弁ヘテ之ニ依テ始メテ國家モ地方モ相共ニ其ノ發展ヲ期スベキモノデアリマス、地方自治ノ要路ニ當ル諸君ニシテモ此点ヲドウカヨク御考ヘニナツテ自治ヲ以テ單ニ區々タル一小地方ノ利益ノ主張ノ爲ニ認メラレタルカ如キ誤解ヲナスコトナク須ク國家ノ大間ニ目ヲ注ガレテ黨争ヲサケ以テ圓滿ナル地方自治ノ完成ヲ期セラルルト共ニ大ニシテハ國家世界ノ爲ニ貢獻セラルル所アラム事ヲ希望スル次第デアリマス。

(完)



農村ノ改善

愛知縣立農林學校長 農學士 山崎 延吉

私ハ只今郡長ヨリ御紹介ニナリマシタ山崎デアリマス今度地方改良講習會ニ講師ノ一人トシテ依頼ニナリマシタノデ參リマシタ、諸君ハ私ヲ始メテ御覽ニナツタ如ク私モ始メテ諸君ニ御目ニカ、ルノデアリマス何分御當地ト愛知縣トハ余程距ツテ居リマスカラ御當地ノ事情ヲ承知シテ居リマセン其御當地ノ事情ニ暗イモノガ御話ヲスルノハ實ニ大膽デアアル何分ニモ満足ナ話ノ出來ヌノハ當然デアアルクレドモ強テ諸君ニ話ヲセヨトノ事故研究旁御話ヲスルガ御當地ノ事情ニ副ハヌコトガ多ク履ヲ隔テ、痒ユキヲ搔ク感モアリマセウカラ前以テ御容赦ヲ願ヒ置キマス、借テ私ノ演題ハ農村ノ改良トイフ事ニ就テ御話シ致シマス

此問題ハ極メテ大キイ問題デアリマスカラ委シクスレバ余程時日ヲ要スルガ一日三時間宛三日間トイフ短時日ノコト故行届カヌハ必然ノコトデアアル只耳目ニ觸レタ時ニ必要ト感ジタ處ヲ抜イテ御話シ致シマス就テハ章ヲ追ヒ項ヲ設ケテ御話シ致シマス

第一章 農村ノ現況

一 縣農村トハドウイフモノカ御承知ノ通り現在ノ日本帝國ハ新領土ヲ除イテ一万二千有余ノ自治縣カラ成ツテキルソレヲ分ケルト市、町、村トナル其内市ハ年々殖エルガ七十内外ト思ヘバ大差ハナイ町ハ約千ト思ヘハヨイ村ハ一万千有余ト思ヘハヨイ之レヲ合セテ一万二千二百有余ノ自治縣ト申ス

此内市ハ農村デナイ町ノ内デモ市ニナラントスルモノハ農村デナイ併シ町ノ内テモ村ト違ハヌモノガアル之ヲ農

村トイヘハヨイ故ニ村ト村ニ近イ町トヲ農村トシテ私ハ話ス
赤穂町モ農村ト思フ此等ノ現況ガドウイフ有様カ之レモ話スヘキ箇條ガ多イノデ時間ガ少イカラ重ナルモノニ就
テ話シテ見マセウ

第一項 民心ノ動搖

今日農村ノ現狀トシテ何處ニモ見聞スルコトハ國民心裡ノ動搖デアリマス就中著シキヲ掲クレバ

1、自己ノ業務ニ對スル信念ノ動搖

農家ハ農業ヲ以テ身ヲ起シ家ヲ立テネハナラヌモノデ何處マデモ祖先傳來ノ業ヲヤレバヨイノニ之レガ動キカケ
テ來タ農業ハ儲カラヌトカ或ハ塩田デハ面白クナイカラ或ハ商業ヲヤルトイフ風ニ動搖シ始メルコトハ何處ニ於
テモ事實デアアル然シテ自己ノ職業ヲ捨ツルコト破レ履ヲ捨ル様デアアル此様ニ我事業ノ信念ガ薄ライデキタノハ明カ
ナ事實デアアル
堅イモノハ農業デアアルノニ他ノ業ニ力ヲ入レテ居ルモノガアル之レハ落付テ我業務ニ忠實ナル働ヲナシ進歩改良
ヲ考フルモノ少ナイ所以デアアル、甚シキハ自分ノ職業ヲ悔リ自己ノ職業ヲ重ゼズ人ニ向ツテ何かヨキ仕事ナキカ
ト恰モ迷ヒ人ノ如キ有様ニナツテ居ルノハ我國農村ノ現狀デアアル
御當郡ノ統計上ヲ見テモ萎微振ハサルヲ知ル義士ヲ出シタ有名ナ土地デ日本ハ愚カ海外ニマテ赤穂ト云フ名ハ廣
告ガ行届テ居ル其赤穂ノ現狀ハ實ニ云フニ忍ビヌ狀態デ誠ニ立派ナ義士ノ顔汚ラシテ居ル此原因タルヤ自己ノ業
務ニ對スル信念ガ薄ライテ來タ爲メデアアル
途中車上ニテ水田ヲ見タガ私ノ縣ト廣サニ於テ大差ハナイノニ出來ノヨクナイノハ農業ニ對スル信念ガ薄ライテ

ヲルノデアアル自分ノ觀察ハ誤ラヌ積リデアアル之ガ總テノモノニ禍ヲ及ボス原デアアル、聞カル、通り我同盟國ノ英
吉利ハ土地ノ面積日本ヨリ狭ク人口モ少イケレドモ領土ハ大キク日ノ没スル地ナシトイフ有様デアアル今日歐州戰
乱ニ就テモ經濟上驚クバカリノ費用ヲ要シテモ少シモ苦マナイ今後何年續クカ知レヌケレドモ最後ノ勝利ヲ得ン
トシテヲル兵ハ弱イト云ヘドモ其富ノ力ハドウシテ得タカ實ニタイシタモノデアアル之レ自己ノ職業ニ信念アルキ
ノハ其業ノ王トナルコトガ出來ルト彼ハ云フテ自己ノ職業ニ努力スルガ爲メデアアル
東京高等工業學校ニ英國ノ模範職工ヲ雇ヘリ此人ハ音樂ガ天才デ上手デアアル所カラ帝國ホテルナドニ宴會ガアレ
ハ音樂ヲ奏シ一夜ニ五百圓位ノ收入ガアルト云フ、ソコデ日本ノ職工ガ君ノ音樂ハ上手デアアルガ僅カノ給金ヲ得
ンヨリハ音樂ヲ以テ世ニ立テハ今日以上ノ收入ガアツテ立身シテ富有ノ生活ガ出來ルデアロウ何故ニ職工トナリ
居ルカト問ヘハ職工ハ我ノ天職ナリ音樂ハ娛樂ナリ何ソ天職ヲ捨テ、娛樂ヲナサンヤト此信念アルカ故ニ英國ハ
富ヲ作ルノテアル此信念ガ動イテ居テハ罰ガアタルデアロウ然ルニ我國ハ信念カ薄ラク我職ヲ疑ヒ他ニ職業ヲ求
メントスルモノガ多イ實ニナサケナイコトデアアル

第二項 物質ノ欠乏

所謂物産ガ乏シイ資本金ガナイトイフデアアル
此事ニ就テハ話サズトモ統計ヲ見レバ分ルコトデアリ、資本欠乏ハ身ニシミテ諸君自ラモ感セラル、ダラウト思フ
外國人カラ見レバ實ニヒドク見エル
タゴール曰ク日本人ハ物質ニ目ガクテ精神ノ尊キヲ忘レテ居ル日本國民ハ實ニ氣ノ毒デアアルト印度人マデモ見
下ゲテヲル

昨年四月二十日英國ノ社會學者ロバートソン、スコット氏ガ來タ此人ハ北ハ北海道南ハ台灣マデモ行ツテヲルガ

相當ノ身分(日本人ノイフ相當即チ高貴トイフノデナイ)即チ人格アル立派ナ人デアル故ニ我國デモ到ル處優遇シテラル

其人曰ク日本ノ農村ハ實ニ見惡イ其實際ヲ見レバ金ヲホシガツテ金以上尊イモノヲ考ヘヌ只物質ニ重キヲ置イテ居ル實ニナサケナイモノデアルト罵倒シタガ残念ナガラコ、ガ日本農村ノ現狀デアル、赤穂郡一萬一千戸余ノ人ガ一生働イテ二百七十三萬四一戸ニ割ルト二百七十萬デアル當郡ハ資金ニ欠乏シテ居ル人多イ統計ガ偽リナラヨイガ當ラズトモ遠カラズナラン

愛知縣ニ比較スレバ半分デアル農村ハ同ジデアレドモカク差ノアルハ働キガ鈍イカラデ兎ニ角物資ノ欠乏ハ我國農村ノ現狀デアル

第三項 人格才能ノ欠陥

即チ今日ノ農村ニハ人物ガ足ラナイ或所ニハ少シモ居ラヌ私ハ忌憚ナク申スガ國家ノ政策其宜シキヲ得ヌノデアラウガ教育ノ方針ノヨクナイノモ其原因ノ一ダラウト思フ
今ヨリ十年前東京ニ於ケル實業學校長會議ニ私モ參列シタ、神田一橋通高等商業學校ノ講堂デアツタガ會議ノ間ニ農、工、商ノ模範人物ガ出テ話ヲシタ此學校ニハ實業ノ恩人森有禮氏及ビ濫澤男ノ肖像ガ懸ケテアツタ最初商業ノ代表者濫澤男デアツタ「抑我國ノ商業ハ」トヤツタ成程彼ハ商業家デアル日本ノ商業ヲ進メタ人ガ話ヲシタノハ實ニヨカツタ次ニ三菱造船ノ方ノ恩人莊田平五郎氏ガ出テ彼ハ自ラ職工ノ業ヲヤツタ人ソレガ工業ヲ今日ノ如ク進メタ一人トシテ尊重セラレテラル其三菱ノ造船ヲ担當シテ居ル人ガ出タノハ似合ハシイ此人ハ一昨年引退シタノデアル
今度ハ農業ノ代表者ニハ豈計ランヤ新戶邊稻造氏デアル此人ハ吾々ノ崇拜シテキル學者デアル農學博士ト法學博

士トノ肩書ヲ持ツタ人デアルガ實際ニ鋤鋤ヲ持ツタ人デナイ曖昧ナ人物デアル農業者デナイ何故代表者即チ模範人物トシテ我ハ何處ノ百姓デストイフテ出ルモノガナイダラウカ實ニ農業方面ニハ人物ガナイ

赤穂ガ名聲ヲ轟カシタノハ立派ナ主人ト家來トノ間ニ他ニ優ツタ人物ガアツタカラデアル今日ノ赤穂ハ何故ニ衰微スルカ人物才能ガナイカラデアアル今日赤穂ハ何ヲ以テ天下ニ誇ランカ人格ガナクレバ事業モ起ラズ物産モ出來ナイノデアリマスヨ

我國ノ農村自治躰ニハ殆ンド人物才能ガ乏シイノデアアル之レガ爲メ進ムベキコトモ進マヌ出來ル事モ出來ヌ此ノ如クニシテ我農村ハミジメニナリツ、アル
以上陳述セシ三ツハ何處ニ行ツタモ農村ノ現狀トシテ指摘スル、ガ出來ルノデアツテ何處ニ行ツテ聞イテモ間違ハヌ話デアル
右ノ事柄ヲ知ラヌト改善ノ法ハ講セラレヌ

第二章 農村教育

此点ニ就テハ私ハ色々ノ主張ガアルガ拙者農村教育論ニ纏メテ發表シテアル此本ニ就テ御研究下サレバ能ク解リマス茲デハ思立ツタ、次ノ如ク簡條別ケヲシテオ話致サウ

1、世運ニ伴フベキ教育

我國ノ教育ニ付テハ文部省ハ六ケ年ノ義務教育ヲ強制シ十二才迄ハ學校ニ入ラネハナラヌ、トニナツテ居ル然シテ小學校デハ國民トシテノ必要ナルモノヲ教ヘテ居ル之レハ日本全躰ニヤツテ居ルガ同ジ國民教育ヲスルニモ從事者ノ考ヘ一ツニ依テ今日ノ教育ヲモット金ヲ要セスシテ一層有効ニスル、ガ出來ルノデアアル又父兄ニ於テモ子弟

ノ將來ニ就テ深キ考ヲ以テヤレバ今日以上ノ効果ガアルト思フ

世運ハ解釋ニヨリ色々ニナルガ今日世運ノ一ツトシテ看過スヘカラサルハ商工業ノ發展ト農業ノ困窮トハ覆フベカラザル事實デアアル之ヲ立証スル爲メ一場ノ話ヲスルガ順序ナレド此處ニハ省クガ諸君ハ之レヲ認メテ居ラル

、筈デアアル
商工業ノ發展ハ金錢ノミニヨラヌ人ヲ要スルノデアアルマツチノ工場ガ一ツ出來レバ多クノ職工ヲ要スル製糸工場

モ紡績工場モ同様ニ金錢及人ノ多數ヲ要スルノデアアル
愛知縣下ニ軍器ノ工場ガ今度出來ルガ之レガ爲メ一万人ノ人ガイルト云フコトデアアル斯ノ如ク工業ノ發展ニ伴フテ

人ガイルノデアアル商業ニ於テモ亦人ガイル其人ノ出所ハ何處ニアルカ無論農村カラ出ルノデアアル農村ノ人ヲ吸收スルノデアアル
此赤穂ハ郡ノ統計上戸數ハ多イガ人口ハ益々減シテ居ル此等ノ人ハ神戸大阪等ノ他地方ニ行クナランカ、ル状態

ハ獨リ赤穂ノミナラス何處デモアル是レ世運ニ伴フ事實デ農家ノ困窮ハドウイフコトカ原因ハ色々アルガ耕地ノ狭

イコトハ争フベカラザル事實デアアル何分ニモ進ンデ行クニハ五反百姓デハ出來ヌ其土地ノ狭イ上ニ米麥糠等ヲ作ルノミナラス人間ヲモ造ルカラ人ガ多クナル
今日ノ日本ノ國ハ耕作反別ガ狭イ上ニ人間ガ多イカラ困ラザルヲ得ン故ニ困難ヲ避ケンニハ人間ヲ減ズル必要ガアル

省ト云ハン

眞宗ノ僧侶ニモケシカラヌモノガアル肉食妻帯ヲ許スルト子供モ出來ル子供ヲ集メテ毎日讀經ヲ教ヘル子供ノ時ハ大キナ聲デ讀經シテ居ルガ小學校ニ入り中學校ニ入ルヨウニナルト讀經セヌ親ガ云テモ他ニ事ヨセテ讀マズ中學校デモ卒業シ追々成人スルト親ノ職業ヲ嗣グモノナク私ハ或ハ大學ニ行クトカ政治家ニナルトカ或ハ文學士辯護士或ハ中等教員トカ云フ様ニ大キナ事バカリ云フテ居テ大學ニ入學デキズ高等文官試験ヲ受ケテモ落第ヲスルヤツト縣屬位ニナルガ左程面白クモナイ郷里ニ歸ツテ親ノ有様ヲ見ルト門徒カラハ色々物モ貰ヘバ村ノ人々ヨリハ尊敬セラレテ居ルカラ矢張り僧侶ガ羨マシクナリ元ノ僧トナリテ一生ヲ終ル此等ヲ後先防主中奴ト云フノデアアル農業者ニモ之ニ似タルモノガアル或ハ商業ヲ羨マシク思ヒ一旦ハ商業ニ手ヲ出ヌガ失敗シテ又元ノ百姓ニ戻ル之ヲ名ヅケテアトサキ百姓中ヤツコトイフ之レヲ放浪生活ト云フノデアアル是等ガ國家ニ禍ヲ及ボスノデアアル

是レ即チ世運ニ伴フ教育ガ出來ヌカラダ私ハ此点ニ就テ余程前カラ實行シツ、アル積リデアアル
私ハ總領ノ甚六デ自分ノ一家ノ始末祖先ノ祭ヲセネバナラヌケレドモ弟妹等ニハ常ニ論スニオ前ラハ何處ヘデモ行クコトガ自由デアアルカラ親ヤ兄ノ世話ニナラズ不羈獨立ノ生活ヲセヨト云ヒシニヨリ弟ハ朝鮮ニ行キ妹ハ台灣ニ末弟ハマダ學生テスガ養子ニ行キ次妹ハ内地ニ居ルガ主人持デアアル猶今一人ハ亞米利加ニ行キ皆夫々實家ノ厄介ニナラズニ居ル故ニ暑中休暇ナドニハ世界カラ集ツテ來ル

我國ハ家族制度デアアル古來其風習デアアルカラ家ヲ尊重セネバナラヌ今年カ來年ハ之レニ就テノ著書ヲスル積リデアアル家ノ觀念ハ日本ダケデアアル然ルハ西洋ノ學問ガ入ツテカラハ家庭即チ「スウキートホーム」トカ云フ様ニナツタガ家トイフコト、ハ違フ家ノ觀念ガ衰フルヲ以テ祖先ニ對シ不孝ナ人ガ出來ル故ニ家族制度ヲ尊重シテ相續人ヲ定メネバナラヌ法律上長男ガスルノデアアルケレドモ不適當ナレバ廢嫡シテ次男ヲ以テ相續セシムベキデアアル私ガ相續シテ親ヨリ借金ヲ貰フタ其時親ハ涙ヲ流シ借金ヲオ前ニヤルノハ氣ノ毒デアアルトイツタ私ノ曰クソレハ違

フ借金ヲ造ルハ骨ガ折レル夫レヲ下サルノハ親ノ慈悲ト思フ若シ金ヲ下サレタラ安心シテ怠ル私ニ出世スル元ヲ下サツテ手引ヲシテ下サツタノデアル借金ハ誠ニ結構デスト云ツタ其時父ハ嬉涙ニ暮レタ私ハ山村又吉、金原明善、石川理紀之助ナドノ篤志家ニ心安イガ此人等ハ立派ナ財産ヲ貫ツタガ僕ハ借金ヲ貫ツタ併シ今日デハ借金モナク安樂ニ暮シテ居ル祖先ヲ大切ニシ墳墓ニハ草ノ生エヌ様ニシ佛事ヲ怠ラヌ様ニシテラ
私ハ私ノ學校ニ學ブ人ヲ長、二、三、男ニ區別シテ長男ニハ必ス家ニ歸ル様教ヘ二男三男等ニハ一時モ早ク獨立スル様教ヘテアルカラ卒業生ハ皆各方面ニ活動シテラ私ノ學校ノ卒業生デ中尉ニナツタノモアル飛行家商店ノ番頭モアル私ノ如クナツテキル人モアル

二男三男ニハ獨立スル様教エベキダ農村農家ニ於テハナルベク長男ニ百姓ヲサスル二男三男デ出テモヨイモノガ出ナイカラ人ガ多クナル即チ農業ニ安ジテ働クノ出来ナイ人間ガ出来ル同時ニ出テ行ク人間ノ心得ガ聞カセテナイカラ偶外ヘ出テ往ツタモノデ少シ金ガ出来ルト貧乏ナ風ヲシテ古イ友達ヲ輕侮スルト云フ惡風ガアル即チ世運ニ伴フ教育ガ出来テ居ナイ殊ニ海外ニ出ルトキハ其心得ヲ聞カセネバナラヌ外國ノ事情ヲ説キ聞カセ耻ヲ知ラシメンコトヲ要ス其心得ナクシテ行クモノガアルカラ米國ヤ支那ニ排日熱ガ盛ニナルノデアル
日本ハ人ガ多クテ困ルカラ海外發展ヲ試ミネバナラヌノデアルニ米國カラ或ハ支那カラ又ハ和蘭カラ各地方カラ排斥セラレ日本人ハ八方塞リノ有様デアル之レ出ルベキ教育ヲシテナイカラデアル故ニ小學校ニ於テモ青年教育ニ於テモ此点ニ注意シナケレバナラヌ當郡ニテ今日ノ儘ノ教育費デ出ルモノト出ヌモノトヲ考ヘテ相當ニ訓練スル即チ出ルベキモノニハ出ル心得ヲ説キ出ヌモノニハ故郷ニ止リ安ンズル様ヨク教ヘタナラバ農村ガ發展スルノデアル
斯ノ如クスレバ小學教育ハ非常ニ重要ニナル内ニ止ルモノト出ルモノトノ如何ニヨラズ普通教育ハ大切デアルカラ實際ト離レナイ様役ニ立ツ教育ヲセネバナラヌノデアル

2、迷惑ヲ排除スベキ教育

世ガ開ケルト事件ガ多クナル從ツテ迷ト惑トガ多クナル其迷ヲ開キ惑ハヌ様教育セネバナラヌノガ實際問題デア
ル私ハ當郡ノ事情ヲ知レバヨイノダカ其事情ハヨクワカラヌガ世間ニアリフレタノニツイテ御話ヲシマシヨウ
今日ノ世ノ中ヲ見テ人ハ何ニ迷ヒ何ニ惑フテ居ルカトイフト勞動金儲ノ二ツデアル
皆ハ働カネハナラヌト云ツテ居ル勞働ハ神聖ナリト思フテ居ルクレドモ勞働ヲヤツテ見ルトイヤニナル併シ働カ
チバナラムト思フガ其尻カラ何トカ働カズニ濟ムマイカト思フ之レ迷デアル
金ハ儲ケタイガ難儀ハシタクナイ、働カズニ儲ケタイト思フ今ノ人ハ大抵之レニ惑フテ居ル
百姓ハセネバナラヌガ其勞働ガツライ朝早クカラ夜遅ク迄塵芥車ヲ曳ク何トナサケナイヲセネバナラヌカト思
フ、百姓ヲスレハ金ハ儲カラヌ何カ他ニヨイ事ハナイカト民心ガ動搖シツ、アル
此間私ノ處ヘ縣參事會員ガ會計検査ニ來タ、其ノ一人ガ國會議員ノ勳章問題ニ就テ如何ニ思フカト尋ネタ、且ツ
此間議員ニナツタバカリデ私トハ違ハヌ人ニ勳四等ヲ貫ツタ考ヘルト已ハアホラシイト云フタ、私曰ク君ハ迷フ
テ居ル、國會議員ニナレズ勳四等モ貫ヘヌ御人柄デアルト云フテ次ノ問答ヲシタ

君宗旨ハ何カ 其人曰ク禪宗デア

其御開山ハ誰カ 其人曰ク道元禪師デア

君ハ御開山ヲ知ツテキルネ、其當時ノ太政大臣又ハ右大臣、左大臣ニナツタ人ヲ知ルカ 其人知ラズト答フ

禪師ハ位記勳章ガアツタカ、 其人曰クアリマセヌ

大臣ハ位階ガアツタデアアリマセヌカ何故君ノ頭ニハ無位無官ノ禪師ノアリシヲ知ツテ有位有勳ノ大臣ヲ知ラヌ
ノカ

其時其人ハワカッタトイフタ

人間ノ生命ハ無位無官デモ長イ有位有勳ノ人必ズシモ長クナイ禪師ハ生命ノ長イ人デアアル人間ハ死セザル生命ヲ得ルコトガ出來ル元祿義士仇討ノアツタ時ノ徳川政府ニ於ケル御大老ノ名バ今知ラヌ人ガアルガ淺野長矩候ヤ大石ノ方ハ知ラレテキル君ハ勳四等ガ夫程ヨイカ左程羨ムベキモノデナイ今君ガ村長トシテ村ノ爲メニ盡ス方ガドレ程名譽カワカラヌト話シタ

今日ニ於テハ東京ヘデモ出テ大臣ニナリタイトカイフテ迷フ人ガ多イ將來ノ國民ヲ造ル人モ此迷カラ離レヌ人ガアル即チ教育家政治家ニモ迷ガアル肩書ヲ偉イト思ヒ月給ノ多カラントコトヲ思フテ居ルモノガ多イ抑モ人間ノ價値ハ人ノコレ(胸ヲ打ツテ)ニヨルノデアアル之レサヘ偉カツタナラバ何處ニ居ツテモ名ガ天下ニ現ハレルモノデアアル教員デモ町役場書記、議員區長デモ永久ニ名ヲ殘スコトガ出來ル大學教授ヲモ死ネバ名ガ殘ラヌモノモアル一時的名ニ心ヲ置カズ、モット高イ處ニ精神ヲ置キ名ヲ竹帛ニ垂レルガ肝要デアアル

百姓ハ働クノニ恰好ガ惡イトイフテ嫌フ人ガアルガ勞働ハ神聖ナリト考ヘタナレバ此様な感じハ起ラヌモノデアアル其例話ヲ次ニ示サン

揖保郡旭陽村ノ或青年曰ク私ハ働カナケレバナラヌコトハ知ツテキルガ如何ニ思フテモ官吏ヤ教員ナドノ事ヲ思フト恰好ガ惡イ、同ジ働クナラモツト氣ノキイタ働キガシテ見タイ肥料ヲ運ンデ居ルト人ガ私ノ鉢ガ臭イ様ニシテ他見ラシテ通ル、又町カラ堆肥ヲ運ンデ居ルト是レモ女學生ガ逃ゲテ他路ニ行ク、ソシテ鬼ノ様ニ嫌ハレル、小供迄ガ馬鹿ニシテ後カラ田ノ中ヘ石ヲ投ゲルコトガアル此様な有様アラカラ何ト考ヘテモ働カネハナランガ百姓ノ働ハ恰好ガ惡イ此点ニ就テ教ヘテ下サイ

私曰ク君ハ釋迦ヲ知ルカ

青年曰ク寺ニ詣テ見タコトアツテ知ツテ居リマス

私曰ク釋迦ノ前ニハ老若男女ガ合掌シテ拜スルガ其風彩ヲ知ツテ居ルカ

青年ハビカク光ツテキルガ能ク見タコトハナイト云フ

アノ佛ノ姿ハ暑カラヌ様ニ又寒カラヌ様ニ、人ニハ見セビラカス様ニト夫々其被服帽子ナドヲ立派ニシテ居ナイ肌ヲ脱イデ素足デ衆生濟度ヲシテ御座ル容デアアル蓮花ノ上ニ居ルガ裸躰デアアル實ニ釋迦ノ像ハ勞働ノ姿デアアルアノキリストハ神ノ子トシテ皆尊敬シテキルガ其風彩如何安樂椅子ニ凭リ立派ナ洋服ヲ着ケテハ居ラヌ十字架ニ縛ラレテ磔ノ像デアアル君ハ田ノ中ニ四ツ這ニナツテ働クノガ見惡クイトカ肥料ヲ運フノガ恰好ガ惡イトカイフカ磔ノ像ハ如何ニ而モ人ハ其精神ヲ考ヘテ拜シテ居ルノデアアル

乃木大將ハ明治天皇ニ殉死セラレ桃山ニ神トシテ祭ラレテ居ル其大將ガ十一師團ノ師團長ノ時或夏ノ頃村ヨリ村ヘ行カル、途中木蔭モナイ峠道ヲ通ラレタ其時副官渡邊明氏ガ附イテ居タガ大將ハ頭ヲ下ケラレテ居タノヲ見テ眠ラレテ居ルコト考ヘテ居ツタ宿ニ着イテ話ノ序ニ途中非常ニ面白イコトヲ見マシタツレハ大將ガ馬上デ眠ラレタコトヲ始メテ見タコトデアアルト

大將ハソレハ何處デアアル彼ノ長イ峠道ヲ通ツタ時デアロウ然ラハ君ハ不都合千万デアアルアノ暑イ時左右ノ田ニ多クノ人ガ何ヲシテキタカト尋ラレタ、副官知ラズト答フ、ソレガイカヌ、アノ暑イ時稻草ノ中デ苦シイ容ヲ見セズ田草ヲ採ツテキタ百姓ガアツタ言葉ヲカケヨト思フタガ邪間ニナルト思ヒ心ナラズモ頭ヲ低クシテ敬意ヲ表シテ通ツタノデアアルソレヲ眠ツタト見タノハ量見ガ違フト云ハレタト乃木大將追吊會ノ時渡邊副官ガ話サレタソレヲ聞イタ時私ハ非常ニ喜ムデ千万ノ味方ヲ得タ様ニ思フタ、百姓ハ見苦シイトイフガ乃木大將ハ其見苦シイ百姓ニ敬意ヲ表セラレタノデアアル之レヲ思ヘバ君ノ容ハ此以上貴キ容デアアルト思フ

明治天皇ニ御避暑アランコトヲオ勤メ申シタキ百姓ノ暑イ田ニ立ツヲ思召サレテ御遠慮遊バサレタ御製ガアルあつしといはれさりけりにえかへる水田にたてる賤を思へは

君ノ田ニ四ツ這ニナツテキル容ヲカク言ハレタノデアアル尙君ハ泥塗レノ容ガ見惡イト思フカ、ドウカトイツタ時
青年ハ喜ビ泣キニ泣キ出シタ之レガ四年前ノ事デアアルガ此頃聞クハ此青年ハ中心人物トナツテ一生懸命ニ働イテ
キルトノコトデアアル實ニ職ニ安心シテ働クヲ最モ大切デアアル
今日ノ小學教育ニ名目ダケ農業科ヲヤツテハナラヌ忠實ニ勤メルトイフ心好ムデ働ク心ガ兒童ナリ青年ニ出來ル
様ニセテハナラン、青年、村民ニ對シテ以上ノ迷ヲ開カシムルコトニ務メネバナラヌ
金儲ノコト、コレハ第三章トシテ話ス積リデアアルカラ此處デハ畧シマス

3、生活ノ向上ト離ルベカラサル教育

世ガ進メバ人ノ慾望ガ増ス此處ニ汽車ナリ自働車ナリ交通ニ便利ナモノガアルト誰モ乗ツテ見タイト思フ酒吞モ
ビールガ出來ルト飲ミタイト思フ
殊ニ生活ノ上ニハ猶慾望ガ出來ル即チ美シイ着物ヲ着タイ、旨イモノヲ食ヒタイ美シイ家ニ住ミタイト云フテ生
活ハ非常ニ向上スルノデアアル

今日ノ教育ハ之ニ離レル傾キガアル到ル處學校アリ教育ハ普及シテ居ルノニ村落ハ貧乏スル、世ノ狀況ハ此様ナ
クシカラントデアアル然ルニ教育家ハ少シモ之レヲ苦ニセヌ生活トハ衣食住デハナイ其様ナ簡單ナモノデナイ子
供ヲ持テハ學校ニ出サネハナラヌ學校ニ出セバ必ス費用ヲ要ス故ニ學校ニ出ス用意ヲセネハナラヌ子供ノ教育ノ
ミナラズ親ノ教育モセネハナラヌ、ソレニハ新聞又ハ雜誌ノ購讀ガ必要之レ又金錢ヲ要スルノデアアル
人間ノ身軀ハ病氣ノ入物デアアルカラ何日何時病氣ニナラヌトモイヘヌ其時醫療ヲ受ケ得ル用意即チ衛生費ヲ造ル
必要ガアル

又人間ハ働カネハナラヌ働クト身軀ト精神ヲ勞スル身軀ノ疲勞ハ眠ルト直ルケレドモ心ノ疲勞ハ寢テモ直ラヌ、

精神ノ疲レタル時ハ眠ラント欲シテ益々眠ムルコトガ出來ズ精神錯乱スルノデアアル、而シテ其精神ヲ休ムルニハ
娛樂ニ依ラネバナラヌ、世ハ中ガ進ム程之レニ依テ精神ヲ休メル、日本人ハ酒ヲ飲ミ藝妓ノ舞蹈ヲ見テ以テ娛樂
ト思フガ之レハ娛樂デナイ一時ノ魔睡デタル精神ノ魔睡デ一時忘レテシマウノデアアル處ガ飲ンダ後計算書ヲ持ツ
テ來ラレタ時ノ顔色ハ變ツテ來ルソレデ苦ノ種蒔ニナル樂トハンソナモノデナイ樂トハ精神ガ本當ニ休ミ然ル後
新ナル勇氣ガ出テ來ル様ニスルノライフノデアアル

衣食住衛生娛樂ニ困ラヌ様ニナツテ始メテ生活トイフノデアアル故ニ此生活ヲ向上スルニ務メネバナラヌ

世ニ「エンゲルス」ノ法則ト云フガアル

所得ト衣食住教育衛生娛樂ニ費ス費用トノ關係ヲ示シタモノデアアル

1、所得ガ増セバ増ス程食物ニ要スル金ノ割合ガ少クナルモノダトイフ

乞食ノ所得ハ全部食物デアアル乞食ヲ去ルテ遠ケレバ遠イ程食費ガ減ズル

田舎ノ人ハ養蚕ナドヲシテ金ヲ儲ケルト何程儲カツタカラ一杯飲マネバナラヌトイフテ費ス之レハ乞食ト遠ク違
ハヌ

偉ライ人ニナレバ食物ハ超然トシタモノデ費用ヲカケヌ釋迦モ食ハネバ死ヌトイフコトハ知レルニヨリ托鉢ニ廻
ルノデアアル併シ是非ニ貫ハネバナラヌトハ思ハヌ吳レテモ吳レンデモ構ハズ廻ル世ノ人ガ喜ンデ捨ルモノヲ受ケ
ルノデアアル處ガ末世ノ僧ハ吳レソウナ所デ貰ツテ居ル之レ食ニ賤シトモ云フベキカ

2、衣||所得ガ増セハ増ス程増スモノデアアル地主トナレバ小作ノ時ノ様ナ有様ニハイカヌ西洋人ハ腕輪、首輪

耳輪ナドヲ箱メ頭ニハ寶石ヲチリハメル

3、住||所得ガ殖エテモ左程ニ殖エルモノデナイ百圓ノ月給取りモ二百圓ノ月給ニナツタ時モ祖先傳來ノ家デ
差支ハナイ

生活ノ向上トナルト教育ニ金ガ費ヘル小學校卒業後、中學ヲヤリ、大學ヲヤリマス、女子モ女學校ヘ入レネバナ
ラヌ様ニナル、今ノ日本ハ儲ケテモ教育ニハ使ハナイカラ頭ハ空トナル、又世ガ進メバ病氣ガ多クナル其度ニ高
價ナ藥ヲ飲ミ醫者ニ罹ル故ニ衛生ニ非常ノ金ガ費ヘル

日本ハ是迄衛生上ニ多クテ費サナイ、積極的ニ衛生上ノ施設ヲセネハナラヌ即チ町村ニ運動場ヲ設ケ、テニスコー
トヲ造リ又ハ射的場及ビ病院ヲ設ケ産婆看護婦ヲ配置シテ一般ノ人々ヲ健全ニスルコトヲ計ラネハナラス、又タ
家族皆娛樂ヲスル即チ眞ノ娛樂ヲヤル故ニ娛樂ハ自分ノミ樂シミ他人ガ苦シムノハ樂デナイ家族ヨリ一村ニ及ボ
シ多クノ人ガ同ジク樂シイモノデナケネバナラヌ然シテ樂ニハ必スシモ金ノ入ルモノデナイ

みそなめて晩飲む酒に毒はなし

す、けたか、にしやくをさせつ、

或小作人ガ夏暑イ時ニ田草ヲ採ツテ働イテラル妻ガ夫ハ炎天ニ働イテラル實ニツライコトデアラウ私ハ内デ洗濯
其他日蔭ノ仕事ヲシテラルラクナモノデアル今日ハ夫ノ誕生日デアルト娘ハ風呂ヲ沸シ室内ヲ片付ケテ花デモ
挿シマセウトイフテソレヲスル、妻ハ一合ノ酒デモ買ヒ來リ肴ニハ味噌ヲ盛ル彼是スル内ニ夫ガ歸ルト娘ハ今日
ハサゾ暑カッタデセウナドイフテ勞ハル鹽ニ足洗水ヲトル故何カ様子ガ違フト思フテ居ルト妻ガ出テ來テ同ジク
勞ハル一躰ドウシタノカト尋ネルト妻ハ今日ハアナタノ誕生日デアリマスカラ茄子ヲ賣ツテ酒ヲ買フテ待ツテ居
リマストイフ、夫ハ大層喜ブ御馳走ハ味噌酌取ハ六十余ノ煤氣タ顔ノ婆々娘ハ團扇ヲ煽グ其境遇ニ立ツタ主人ハ
實ニ嬉シク酔ヒ倒レテ高軒大ノ字ナリニ寝ル其ノ大ノ字ハ大小ノ大ニアラズ絶大ノ字ナリ翌朝頭モ身モ勞レ
モヨクナツテ元氣ガ出ルト妻モ喜ビ娘モ喜ブ斯ノ如ク家内一統喜ブ是レ眞ノ娛樂デアアル大キナ家ニ行ケハモツト
大キナ娛樂ガアル其代ハリニ費用ヲ要スル。
斯クスレハ頭ガ善クナル身体ガヨクナル氣持ガヨクナル金ガ儲カル儲ケタ金ヲ以テ雜誌ヲ買フ牛乳ヲ飲ム講演會

ニモ行ク魚ヲ一週間ニ一度位ハ食フ樂器ヲ買フ衣類ヲ買フ住宅モヨクスルト云様ニナレバ益々發達スルノデア
今日ノ教育ハ此生活ノ向上ト聯絡シテ居ルカドウカ、之レハ教育者町村長及町村有力者モ此点ニ就テ考ヘナケレ
バナラヌ
我國ハ近年貿易ニヨリ一億七千万円九月ニ二億円十二月ニ三億円モト收入カ多クナル此金ハ如何ニ使用スルカ米
國ハ七億円乃至八億円ヲ儲ケタ同時ニ禁酒令ヲ施イタ之レ教育ノ向上デアアル、國民生活ノ向上デアアル
金ヲ儲ケテ惡イ遊ニ使フテナラヌ町村費ノ多額ヲ支拂フテキル教育費カ効能充分デナイトソフ云フニナルノデ
アル

第三章 農村ノ經濟

今日ハ何處ノ地デモ農村ノ生活ヲシテキル人ノ中ニハ農業ヲヤツテモ引合ハヌトカ儲カラヌトカイフテ農村ノ生
活ヲ好マヌモノカアル商工學者カ獨リ金ヲ儲ケテ百姓ハアカヌトカイフテ面白カラヌ心ヲ起ス人ノ多イカ現状デ
アル
地方ニ依テモ農業ノ話ニモ差異カアル、諸君ニ參考ノ話ハ各町村ノ狀況ヲ知ラサレハ出來ヌノニ、一冊ノ統計本
ニヨルノミデアアルカラ不完全デアルカ、道理ハ何處デモ同ジコトデアアルカラ其道理ヲ話シマセウ
戊申詔書ニ「勤儉治産」トアリ誰レモ知ツテ居ル、又勤儉貯蓄ト云フノモ一般ノ言葉デアアルカラ皆知ツテ居ル農村
ニ居住スルモノ其經濟カ宜シキヲ得ヌハ勤儉治産カヨクワカツテイナイカラダト思フ私ハ諸所方々ヘ行クカ之レ
ガワカツテキル所ハ一ヶ所モナイ
勤トハットメルト解シ、働クヲデアルトシ、働クトハ稼グヲデアリ骨折ルヲデ、繰返セバ即チ勤メルヲデアルト
云フニ過ギヌノデアアル、元來勤メルヲニハ四種ノ別カアルモノデアアル

1、身軀ノ働

時間ヲ有効ニスルコトデアル、此事ガワカラナイト朝早くカラ夜遅ク迄働クト大變働イタト皆思フケレドモ之レハ違フ、時間ヲ徒ニ過サヌトカ主体デナケレバナラヌ
日本ノ農民ハヨク働ク様ニ思フカ左様デハナイ農商務省技師齋藤万吉氏ハ關西二十七ヶ所ヲ調査シテ一ヶ年間働ク日數ハ百九十二日間ヨリナイトノ事ヲ發表シタトカアル
學校教員デモ官吏デモ土方デモ三百六十五日ノ内百九十二日ヨリ働カヌトイフ様ナモノハナイ百姓ノ儲カラヌトイフノハ働カヌカラデアル
私ノ知人ニ農業熱心家カアル家族一ヶ年中働ク時間ヲ調べタ處カ百八十幾日シカ働カヌト見出シ之レデハイカヌト本當ニ働ク時間ヲ殖シテ働イタ人カアル
働ク時間ヲ多クセネハナラヌ朝早くカラ夜遅ク迄働クト思フカ實際働イテ居ル時間ハ極少ナイ、新潟縣ヲ調べタカ午前五時ヨリ午后十時迄ノ間ニ於テ食事喫煙、晝寢雜談等ノ時間ヲ除ケバ正味働キノ時間ハ五時間ト十七分シカナイト云フノテアツタ、教員ハ五十分働イテ十分間休ムト晝飯時一時間休ムノテアル又諸官衙ノ官吏ノ勤務ハ一生懸命テアルケレドモ百姓ハ直チニ一息入レル畔テ一服ヤリ出セハ一時間モ休ム實ニ働ク時間ハ五時十七分間テアル收穫時丈ケハ一生懸命テ平常トハ違フテアル
世ノ人ハ百姓ハ働イテ居ルト思フカ調ヘテ見ルト体ノ働ガ少ナイ、仕事着ヲツケ鋤鉞ヲ以テ居テモ時間ヲ有効ニ用フルトハ他ニ比シテ及バヌ、之レ農村ハ呑氣テアルト云フ所以テアルマイカ、事實農民ノ腦髓ヲ解剖スルト目方カ輕イソレハ頭ヲ考ヘルトカ少ナイ頭カ働カヌカラテアル是ハ西洋人ノ調べタ成績テ私ノ著書我青年及青年團ニ書イテ置イタ

2、頭ノ働

呑氣トハ時間ノ觀念ガナイト昔山中ニ曆日ナシト云フテ日ヲ知ラヌモノガ多カツタ、ソレデアルカラ田舎ノ町村會郡會ヲ見テモ議事ノ時間ハ少ナイガ飲食ノ時間ガ長イ十時ノ開會ガ午后一時ニモナル、一日デスム事モ二日カ、リ無益ノ費用ガカ、ル故ニ要ハ僅カノ時間ヲ有効ニスルト充分ニ考ヘネハナラヌト云フトデアル、ムダ働ラセヌ様ニシテ有益ナ働キ方ヲスル、コレガ出來ネハ勤ニナラヌノデアル

智惠ヲ働カセルトデアル農民ハ學問スル必要ガナイト云フテ子供ノ内デモ出來ノ惡イモノハ長男二男ニ拘ラス百姓ヲサセテ出來ノヨイモノハ何處ヘデモ勉強ニ出ストイフ傾ガアル
百姓ハ土地ト天トヲ相手ニシテ利ヲ得ルノデアルカラ人間ノ嗜好ヲ考ヘルノミナラズ天地ヲ相手ニ深遠ナ學理ヲ應用スベキデアル商工業ハ人ヲ相手ニスルノデアル農業大學ハ各國ニアルモ商業大學工業大學ハナイ國ガアル日本ノ百姓ハ身軀ダケ働ケバヨイトテ朝カラ晩迄働クガ頭ガ働カヌ朝早くカラ仕事ヲスルカラ腹ガヘル飯ヲ食フソレ丈ケ儲カラナケテバ即チ稼ギ貧乏ニナル傘屋ノ小僧ハ骨折ツテ叱カラレル百姓ハ骨折ツテ儲カラヌト云フハ智惠ガ働ラカヌカラデアル學理ヲ話スト聞カナイソレデ儲カル様ナ仕事ハ出來ヌ商工業ハ學理ヲ應用シテ居ルノニ獨農業ノミハ學理ヲ應用セヌ
故ニ今日ハ小學校教科ノ中ニモ農業ヲ加ヘテアリ青年教育ニモ農業講習ヲヤツテ此智惠ヲ授ケル様ニナツテアル

3、心ノ働

言替ヘレバ道德ノ働キデアル之レガ目ニ見エヌモノデアルガ實ニ大切ナモノデアル今日ノ世ノ中ハ正直僞リナシト云フト世ヲ渡ラナケレバナラヌ

一ツノ例ヲオ目ニカケル(一圓五圓十圓ノ三枚ノ紙幣ヲ示シテ曰ク)茲ニ此様ナ三枚ノ紙ガアル大サヲ比ベルト一圓ガ大キイ十圓ガ二番目五圓ガ小サイガ諸君ハ先ツ十圓ヲトルデアラウ一枚ノ紙切レ火ヲカケレバ直ニ燒ケテシマフ此ノ様ナモノヲ堂々タル人間ガ押シ戴ク又之レガホシクテナラヌ之レハ何故尊イカ、コ、ニ文句ガアル之レヲ讀ンデミレバ

此券引替ニ金貨十圓相渡可申候

金貨ハ火ニ燒ケヌモノデアアル其金貨ト引替ニナルイフ信ジテ之レヲ十圓ノ金貨ト思フカラ戴クノデアアル五圓一圓キシテ引替ハ金ト銀トノ差ハアレドモ之レヲ信ジテ居ルカラ貴ヘルナラバタ貴イタイトイフ人ガアル、今日ノ世ハ一片ノ紙デモ信ジテ疑ハネハ世ニ用キラル、モノダ書イタモノデモ伴ハナイト信スレバ如何ニモ貴クナル、故ニ今日ハ信用ガ第一デアアル世ニ百姓ハ正直ト云フテラルノニ其正直ヲ役ニ立タセヌノハ馬鹿ナ話デアアル昔カラ馬鹿ノ三幅對トイフイガアリマス

其 一 大名道中ノ時ノ鎗持

鎗持先ニ立ツテ下ニ下ニト先導ヲスルト百姓町人ハ土下座ヲスル頭ヲ上ゲルト頭ガ高イト叱ラレル併シ鎗持ハ鎗ヲ使フ法モ何モ知ラヌケレドモ籠ノ内ニ居眠ル人ガ偉イノデアアル虎ノ威ヲ借ル狐トハ之レデアアル

其 二 藝妓ノ供ニツクニ味線持

藝妓ハ上品モノニアラズ然ルニソリ身ニナツテ先ニ進ムニ味線持ハ下向ニナツテオ供ヲスル、其馬鹿面ハ見ラレタモノデナイ

第 三 百 姓

昔カラ百姓ハ正直トイハレテキルノニ正直ヲ用キヌ虚伴リハ方便ト心得テキルモノガ多クナツタ今日ノ農村ニハ正直ガ生キテ來ネバナラヌノニ此有様馬鹿ゲタ話ナラヌヤ

赤穂郡ノ統計ニ詐僞押領ガ増シテキル、ソウイフイデハ信用ノ世ノ中ニ金儲ハ出來ナイ、正直ヲ質ニシテ薄利デ金ガ借レネバナラヌ世ガ悪クナルトモ農村ハ益々道德ガ進マネバナラヌノニ益々百姓トイヘドモ油斷ガ出來ヌ様ニナル

商業家ハヅルイ、トイフガ成効家ハ正直デアアル故ニ今日農業デ儲カラヌトイフハ信用ヲ重ゼヌニヨルノデアアルサスガ英國人ハ商業上手デアアル私ガ英國デ銀側時計ヲ五十圓デ買ツタ其時之レハ高價ナリトイヘバ主人曰ク舶來品ナラバモット、廉價ダガ之レハ英國製デアアルカラ高イノハ當然其代リクルツタラ何時デモ取替ヘマス成程クルワナイ標準時計トシテ今ニ大切ニシテ居ル日本ノ商人ハ舶來品ガ高イト云フ

會計検査長田尻氏ハ舊式ノ時計ヲ所持セリ或人之レヲ笑ヒシトキ田尻氏ハ之レハ古イ、モノダガ四十年間用イタガ一分モクルワナイ人ガ笑フガ笑フ奴ガオカシイト曰ハレタ

英國ノ商業ノ發展シテ世界ノ賞賛ヲ得タルハ正直ナ營業振デアアルカラデアアル

安價デ便利ナ品ヲ考ヘルハ獨逸デアアル暗キ處ニテ見ルコトノ出來ル其上ニ裏面ニハ寒暖計晴雨計目覺ヲツケテ價五圓五十錢土產物ニハ適當ナ時計カアル兎ニ角獨逸ハ魁ヲナシテ便利ナイヲ考ヘル國デアアル懷中電燈及ビ寝ナカラ見ルイノ出來ル時計モ此國ノ發明デアアル、又佛國ハ流行ノ魁デアアル、西洋人ハ日本デハ何ヲ買フカ何モ買ハナイ日本ハ粗製濫造カ多イ之レカ日本商業ノ振ハナイモトデアアル商業道德ノ振ハヌヲ見テ百姓カ真似ヲスルソレデ立派ナ仕事カ出來ルカ道德ノ働カヌ處ハ農產物モ出來ヌ西瓜ヲ作ツテモ番小屋ヲ作ラネバナラヌ心ノ働キ道德ノ

働キノ及ボス損害ノ多イヲ考ヘネバナラヌ

吳

4、根氣ノ働

意志ノ働キデアル即チ一度ヤツテ儲カラナンダラ今一度ヤル戦争ニハ最後ノ五分間ニ辛抱強イノカ勝ツ
今日ノ農村カ其筋ノ獎勵事業ヲ一度ヤツテ成績ヨロシカラザレバ止メル又他ノ働キヲ聞イテハ眞似ヲシタリシテ
ヨク出来ヌト直ニ止メル、ソナナリデハイケヌ即チ水田ヲ桑畑ニシタリ又田ニシタリシテ奔命ニ勞レテ遂ニ百姓
ヲ止メルガ如シ故ニヨイト考ヘタコトハ七轉八倒シテモ止メヌ覺悟カ大事デアル
以上四ツノ働キカ一ツノ事業ニ集合スル四ツノ藥味カ一ツノ丸藥ニナツタモノト思ヘバヨイ斯克考ヘテヤレバ儲
カルノデアル

私ノ縣私ノ郡ニ近藤八左衛門ト云フ人カアル三十ケ年ニ二十町歩余ノ田地ヲ増シタ一年ニ七反歩ヅ、増シタ勘定
デアル此人曰ク百姓ハ儲ツテナリマセン儲ツテ困ルト、ソレカ朝早イノデハナイ能ク働イテ休マナイ一定ノ時間
ヲ毎日働クソシテ農業雜誌又ハ農業ノ書物ヲ能ク見ル其書物雜誌ヲ見ルトキハ頂ク見終レバ決シテ疊ノ上ナドニ
置カヌ必ズ床ノ上ニ置ク如何ニ農業ノ智識ノ大切ナカヲ心得テラル、ソシテ大キクナレバナル程愈益々眞面目ニ
働ク決シテ且那然トシラハ居ラヌ自分デ働クカラ地方人ハ其徳望ニ懐ク兎ニ角根氣ノ強イ人デアル
西洋ノ格言ニ曰ク天ハ何物ヲモ人ニ與ヘス唯其人ノ働キニ與フルモノナリト我々坐右ノ銘トスヘキ千古不磨ノ言
葉デアル

食物ヲ喰ハント欲セハ手ヲ出サネハナラヌ手ヲ出セハ口ヘ食ハレル柵ノ上ノ牡丹餅モ見テキルバカリデハ口ヘハ
入ラヌ手ヲ働カサネハ入ラヌ此道理ヲ辨ヘズ働カズシテハウマイコトハナイノデアル
或日本人ガ米國人ニ金儲ノ秘訣ヲ問フ

米國人ハ其秘訣トハトイフテ両手ヲ擴ゲテ出シタ

曰ク金儲ノ秘訣ハ口ニアラズ手ニアリ手ヲ大キクスルニアリ手ヲ大キクセンニハ働ケ白イ手ノ人ハ大黒柱ヲ倒ス
人デアル

オ釋迦様デモ手ヲ出シテ居ル物ヲ受ケルニハ手ヲ出シテ働カネハナラヌ

『儉』儉トハ何デモ使ハヌコト、誤解スルモノガ多イ間違モ甚シイ使ハヌコトガ儉ナレバ死ナネバナラヌ儉トハ
使ツテ使ツテ使フトノコト

但シ長ク役ニ立ツ様ニ使フコトナリ

着物ヲ箆筒ニ入レテ片付ケテ居テモ柄モ何モ間ニ合ハヌ様ニナル洋服モ脱ギ捨テタマ、ニセズ疊ンデ蒲團ノ下ニ
デモ敷キ重シヨカケル様毎日大切ニ取扱ヘバ何年モ着ルガ出来ル金ハ使フベキトキニ使ヒ役ニ立ツ様ニ使フガ
儉約デアル

1、身軀ノ儉

早起キスル人ガ身軀ノ儉約スル人デアル併シ早起キシテモ唯煙草ヲ吹フテキテハ何ニモナラヌ山草ノ一荷モ刈ル
如キハ即チ儉約デアル尤モ儉ト勤トハ手ノ表裏ノ如ク相離ルベカラザルモノデアル

大隈侯ハ儉約ノ人デアル八十迄モヤルトイフテ居ル日本人ハ六十一ニナルト隠居スルガ隠居スルト身軀ヲ使ハヌ
カラ早ク死ス人ガ多イ即チ天罰デアル

金原明善今年八十五才デアルガ時局ニ就テ東奔西走シテ日尙足ラズトイフ有様デ勉強シタ一昨年十月正五位ヲ贈
ラレタ其時長崎カラ歸ツテ私ハ位ノイラヌヲハ先帝モ知ラレテ居ラレトイフテ斷ヲシタ其時大隈侯ハ御禮ニ出
ル人ハアレド文句ヲイフ人ハナイトテ大ニ叱ツタ明善曰ク文句イフガアルカライフ一躰アナタハ不忠ノ臣デア

ルト大隈侯大ニ立腹シ其説明ヲ求ム明善曰クアナタハ榎原神宮へ參拜セラレシカ
侯曰ク未ダシ、明善曰ク明年御大典後伊勢及ビ榎原神宮へ御參拜ノコト、思フ其神宮ニ雨漏ガシテラ
付カントハ何事カ、ソレデ不忠ノ臣トイフノガ惡イカ
大隈侯大ニ謝シテ急ニ十八万田ヲ豫算ニ入レタ今神宮ハ工事中デア
此ノ如ク八十餘ニナツテモ働クト云フノガ是レ身躰ノ儉約デア

2、物ヲ役ニ立タス

物ヲ粗末ニセスコトデア
江州ノ商人塚本定右衛門ハ砂防工事ニ七万五千田山梨縣へ一万田ヲ寄附シ其他公共事業ニモ寄附シタ千万田位
ノ財産ハアル世ノ人ハ溜レハ溜ル程出スヲ厭フ此人ハ通ジカヨイ通ジノヨイ人ハ身体カ強健デア
ト取ルコトハカリヲ知ツテ出スヲ知ラヌ金持ノ糞ヅマリハ投棄カ出来ヌ故ニ天ノ神ハ自ラ藥ヲ賜ハル、ソレハ
百年乃至二百年ノ内デア
道樂息子デア見事通ジラツケルソシテ溜ツタノ下シテシマウ即チ儉約ヲ知ラヌ人デア
デモ道樂息子カ一代ノ中ニ皆出シテシマウ此例世ニ多イソウイフ人カアレハ忠告シテ貰ヒタイ塚本家ハ通ジカヨ
クツクカラ益々肉肥エ血カ増スノデア
此人ノ家憲ニ一尺ノ繩一寸ノ糸ト書キテアル
之レハ一尺、一寸、ノ繩糸タリトモ粗末ニセストイフデア
農夫ガ物ヲ粗末ニスルモノガ多イ物ヲ粗末ニセナンダナレハ肥料ハ買ハズトモ濟ム物ヲ儉約スル人ハ立派ナ堆肥
ノ製造ガ出来ル

宅地ヲ利用スレバ宅地ノ中カラ租稅ガ取レル様ニナル

3、時間ヲ役ニ立テル

之レハ前ニ述ベタカラ細カイ事ハ言ハヌガ兎ニ角時間ヲ有効ニ用フルコトデア

4、心遣ノ儉約

二百十日前ニナルト天氣模様ノミヲ見テブラノシテ心遣ラヌル何ノ役ニ立ツカ心ノ遣ヒ方ガ贅澤デア
繩デモナヘ去年ノヤリソコナヒサヘナクバ今年ハ樂デア
ル金ヲ呉レタラ大業ヲヤツテ見ルトカ總理大臣ニナツタラコウヤルトカ金持ニナレバコウスルトカ前ノ
リ考ヘテモ居ルモノガアルガ愚ノ極デア
農業ニ熱心ガ出来ヌトイフノハ心遣ヲ役ニ立タセテキナイカラデア
心トハ昔コロコロト名ヅケタ人ノ心ホドコロコロト轉ブモノハナイ學者ハ名ダケデモ轉バヌ様ニトイフ
シタノデアアルソシテ心ノ上カラ四角ナ重シヲ置キマダ中央カラ棒ヲ通シテ釘付ニシタノガ忠デア
動カヌ形デア
ナラヌ勤ヲヤラウトナラバ儉ヲヤラネハナラヌ此ノ二ツハ離ル、一ノ出来ヌモノデア
ニ立タセル、生産ハ收入ノ根本デア、儉ハ消費の方面ニ役ニ立タセル支出ヲ漫ニセヌデア
故ニ勤ガ本當ニ出来レバ收入増加シ儉ガ立派ニ出来ルト支出減少ス、ソコデ收入多クナリテ支出少クナル、ソ
ウヌルト差引ガ多クナル此多キ差引殘ガ殖エル身代ニナル餘ガ出来レバ貯蓄ガ出来ルデア

百姓ハ勤儉ガ正シク出來レバ財ガ多クナリ産ヲ治メルヲ出來ル然ルニ商賣ガヨイトカ工業ガヨイトカ大阪方面ニ出カケ遂ニハ失敗シテ其日ノ衣食ニ困ル人ガ多イ

東京ノ町ハツレニ巢鴨トイフ所ガアル其處ニ監獄ガアル其途中右側ニ養育院ガアル養育院ニ入ル人ヲ一ツ研究スレバ親兄弟モ關係セズ自分デ食エヌモノ、ナレノハテヲ收容シテ居ル此ノ頃年ニ平均子供ハ五百人大人ハ二千人宛收容シテタル此様ナ運命ノ人ハ多ク農村ヨリ都人ヲシタ人ノナレノハテアル故ニ商工業ノ儲ヲ羨ム人ガ多イ其多イ中ニハ監獄ニ入ル人モアル養育院ニ入ル人モアル又精神病院ニ入ル人モアル唯勤儉ヲ身ニ行フ人ナレバ何業デモ立派ニ身ヲ立ツルノデアル、之レヲ御互ニ考ヘテ今日ノ家業ニ忠實ニ働ケバ儲カルノデアル

愛知縣ノ或人一反歩ヲ耕作シテ年額三百八十圓程ノ收入ヲシテタルソレハ植木鉢デヤツテタルソレハ名古屋市ノ料理店及金持ノ人ヲ相手ニ刺身用ノ若芽ヲ鉢ニテ培養シテ賣リ出スノデアル此處デハ眞似ガ出來ヌガコ、ガ心ノ働キデアル

大地主ハ地主相當ノ事業カアル東京ヘノ途中豊橋驛ノ五六町手前田ノ中ニ硝子製ノ家カアル九尺ニ二間ニ十本ノ葡萄ヲ植エ一本ニ五貫目内外ニテ一本ニ三十圓ヲ儲ケ年中ヤツテ三百圓以上ノ收入カアルソコへ行ツテ見レバ學士モ百姓モヤツテ居ル然ルニ大地主ニナルト株ニ手ヲ出ス會社ニ手ヲ出ス中ニハ何モセズニ遊ンデ居ル人モアル時世相當ニ頭ヲ働カセ身体ヲ働カセ心ヲ働カセバ農業者ニ同情ガ出來小作人ヨリモ尊敬ヲ受ケテ損ヲセズニヤツテイケル

ソウイフ事蹟ヲ書イタ書物ヲ一冊郡長ニ昨夜渡シテ居ルソレヲ御覽下サレタイ所望ノ人アレバ愛知縣農會ニ申込マレタイ

貯蓄ノ意義

何が故ニ金ヲ貯ヘルカノ目的ガ今ノ人ニワカラヌ故ニ其村デ迷惑セネハナラヌ事ガ出來ル此迷惑ハ貧人が造ルニ

アラズ金持ガ造ル溜ルトキタナクナルモノハ糞壺、痰壺、金持デアル即チラツコ組ガ出來テラツコノ襟卷ヲスル妾ヲモツハ金ノアルモノニ限ル斯クシテ風俗ヲ惡クスル之レニ眞似スル人が出來ル故ニ貯蓄ノアル人が社界ニ害ヲ流ス故ニ此ノ意義ヲ明ニセネハナラヌ即チ貯蓄ニハ

- 1、資本
- 2、備荒ノ意義ガアル
- 3、恒産

金ガ溜ツテ働カヌモノハ以テノ外ノ「デアル溜レバ使ツテ役ニ立テネハナラヌ資本ヲ豊ニシテ事業ヲ現實ニスルヲ要ス金ガ溜レバ事業ノ發達改良ニ用キネハナラヌ資本ガ農村ニ出來ナケレバナラヌ之レガ貯蓄ヲ獎勵スル所以デアル災難ノ時ニ之レヲ用フ即チ暴風雨が有ツテ豫定ノ收入ガナイ時ノ用意ヲスル昔ノ人ハ三年五年六年九年トイフ様ニ貯ヘヲ人ニ教ヘテキル今日ノ農村ノ脆イノハ貯蓄カナイカラデアル

次ニ恒産ヲ殖ス「デアル家屋、衣服、書物等ヲ身分相應ノモノニ裝ヘネハナラヌ即チ客ニ用フル道具トカ式服トカラ作ル必要ガアルソシテ上品ナ生活ガ出來ル様實際上事欠カヌ様恒産アリテ始メテ家格人格ノ向上ガ出來ルノデアル此人格家格ガ向上スルト共ニ公共慈善事業ニ出金スル様ニナル斯ル人が農村ニ集ツテ農村村格カ出來ル町村ノ公共事業ハ發達シテ村カ進ミツマラヌモノカナクナル皆一家カ元トナリ村ヲ富マシ國ヲ富マストガ出來ルノデアル

農村經濟ノ眞諦

佛作ツテ魂入レズトイフ「カアル魂トハ何デアアルカ今迄ノ個人々々ノ實行ノ外ニ更ニ一層ノ幸福ヲ増スニハ協同ニ限ル即チ團体的ノ活動カ出來ネハナラヌドウモ此ニ氣カ付カヌ何處ニモ農會カアル其農會ハ何モシテ居ラヌ會

費ノ取ラレ損農會トナツテ居ル國家カ法律デ保護スルハ唯農會ノ團躰ノミデアアルハ何ノ爲メカソレニ町村ノ人カ農會ヲ活動セシメザルハ農村ノ發展セヌ所以デアアル
銀行、會社、組合ナドガ發達シテ居ル地方ノ人ハ此等ノ株ヲ持チタガ同ジ働ヲシテ同ジ利益ヲ上クベキカ農會デアアル銀行ノ組織ガ出來ルト間セナク農會ノ組織カ出來タノデアアルノニ之レニ目ヲ付ケサルハ頭ノ働カザルノニモ程カアル

銀行會社デモ株ノ拂込カアル農會ノ負担カソレダ銀行ハ株ノ出資ヲセシテ活動カデキルカ然ルニ農會ノ會費カ高イトカ何トカイフテアル農會ハツマラヌトイフテアル笑止ナ話デハナイカ

今日ハ産業組合法ガ出テ共同購入、共同販賣、共同貯蓄ヲヤル様ニナツテ皆團体的活動ニヨリ利益ヲ得ントシテアルノニ組合員ノ德義ヲ重ゼヌカラ利益ガナイ其他養蚕組合、養鶏組合モ出來ルデアアラウ事業ニヨリ如何ナル組合デモ出來ル之等ノ團体的、協同的ノ經營カ出來テハナラヌ

此道理ヲ手デヤルト此手ニハ五本ノ指カアル之レカ完全デアレバ自由ニ動ク此掌デカヲ入レルヲハ握ルニ限ルスレバ金槌ノ代リニモ撞木ノ代リニモナル喧嘩ノ時ニモ握ルコレカヲ入レル爲メデアアル孔子ハ生レテ知ル學ンデ知ル苦ンデ知ルトイフ三知ヲイハレタカ喧嘩ノ方ハ生レナカラニ知ツタモノデ自然デアアル昔ノ佛教ニモ五指ノ互彈ハ一拳ノ擊ツニ如カズトアリテ協力ノ大切ナルヲ説イテアル

商業ニハ會社銀行等ヲ作り一舉主義デアアルノニ百姓ノミ之ニ反シ弱キヲ強イカニスルヲカ出來ナイ赤穂郡衰ヘタリトモ共同シテヤレバ盛ニナルデアアル

四十七義士ハ皆協力シタカラ吉良ノ首ヲ取ツタソレト同ジク一郡皆一致協力スレバ天下ノ耳目ヲ徳動セシムルヲカ出來ル之レモ私ノ方ヘ來テ御覽土地ハ廣イガ夫レヨリカ共同ヲヨクシテアルヲ見モノデアアル碧海郡安城町ハ米ノ出ル處デ景氣不景氣ハ世間ナミアル處ナレド米ガ安イトテ不景氣トイフテ苦ニスル百姓ハ一人モ居ラヌソレ

ハ高い時ニ用意ラシテ置イテ安イ時ニ憂ナキ様ニスルカラデアアル其郡デハ一郡共同シテ養鶏ヲナシ日ヲ定メ卵ヲ驛前ヘ持チ出シ等級ヲツケ入札ヲ以テ共同販賣ヲスルソレカ爲メ高ク賣レル米ノ安イ時ハ鶏ヲ飼ヒ卵ヲトリ糞デ金ヲトル其養鶏組合カ二十八アル五十万山ノ養鶏株式會社ガ出來タ其生産品ハ共同販賣ヲスル急カサル時ハ需要者ノアルマデ待ツ暑中ノ如キハ雄ヲ除キ無精卵ヲ生マセテ腐敗ヲ豫防スル此度虎疫流行ノ爲メ多クノ利益ヲ得タ鹿兒島縣ハ養鶏カ多イガ損ラシテ居ル之レハ共同セヌカラデアアル愛知縣ハ日カ定マリ品ガ揃フカラ儲カル我縣下西加茂郡高橋村(千七十二月)デハ本年養蚕デ五十万山ノ收入ガアツタ一戸平均五百山トナツタ又田地カ少ナイカラ米ノ二度作ヲ研究シテアル十一町歩程デアアルカ二度ノ收穫ガアル兵庫縣人ガ之ヲ見テ驚イテアル當時揖保郡ダケガ真似ラシテ居ル筈デアアル一度收穫デ二石五六斗アルモノナレバ二度作デ四石以上ノ收穫ガアル是レ皆農會活動ノ賜物デアアル又高橋村ノ公會堂建設費ハ税金又ハ寄附金ナドヲ取ラヌデ出來タ之レ共同販賣デ上ダタ利益ヲ三ヶ年分村ヘ寄附シタノデアアル又タ碧海郡デ薩摩芋モ二度トレル所ガアリ五万山上ル其處モ共同ノ爲メ一割ハ多ク儲カルコトニナツタ

赤穂郡民赤穂町民ニシテ共同ガ出來ネハ義士ノ面汚シデアアル願クハ共同ノ利益ヲ論シテ各事業ニ共同シ組合ヲ利用シヌケガケ功名ヲセス目前ノ小利ニ眩惑セズ大ナル利益ヲ目的ニセネバナラヌ、愛知縣デハ渥美郡東春日井郡知多郡碧海郡ノ購買組合ガ聯合シテ肥料ヲ共同購買スルヲニナツタ一口ノ注文ガ六十万山アル名古屋ノ問屋モ頭ヲ下ゲル様ニナツタ平田産業組合中央會頭ハ喜ンデ有恒會ノ名ヲ贈ツテ先月十一日ニ創立シタ
次ニ石油購買組合ガ出來タ實ニ共同ノ功德ハタイシタモノデアアル此共同ヲ農村ニ始メテ出來ル筈デアアル勤儉貯蓄ノ本當ノ意義ヲ悟リ本當ニ行ハ、金ノ儲カルヲハアタリマヘテアル勤儉貯蓄シテ益々資本ニ用キ人格家格ヲ作ラネハナラヌソシテ人格家格ヲ向上スルニハ慈善公共事業ニ力ヲ盡スヲガ必要デアアル一家ニ於テ夫婦力ヲ合セテ始末ヲスレハ一家榮エル一國モ同ジデアアル、上下心ヲ一ニスルト云フガ發展ノ本デアアル

縣廳ノ金森氏ハ此方面ノ御話デアラカラ或ハ同シコトヲ重複ノ嫌ガアル成丈ケ重複セヌ様話ヲスル一昨日來ノ農村教育農村經濟ヲウマクヤル上カラ申ストドウシテモ此題目ニツイテ話ヲセヌト首尾貫徹セヌカラ止ムヲ得ヌ同ジ様ナ題ニヨリ話ヲスルノデアアル其積リテ御聞取ヲ願ヒマス

吾々ハ町村ニ居住シ生計シ働クノデアアル又子孫ヲシテ相續サスルノデアアルカラ町村ハオ互ノ根據地デアアル其根據地ヲ便利多クシ幸福ナラシメ平和ナラシムルニハ其町村ニ住ムモノ、自治ニ任セラル、様ニナツタ今日デアアルカラ其町村ハ御互ガ自治ヲ立派ニヤルヲガ出來レハ根據地ハ便利多キ幸福ナル平和ナル土地ニナルノデアアル決シテ昔ノ如ク官廳ノ保護盡力ニ俟ツベキデナイ所謂オ上ノオ世話ヲ待ツテ居ルベキデナイ何處マデモ住民ノ力ヲ立派ナ町村ニセネハナラヌ

自治心ノ涵養

自分ノ居住地ヲ立派ニスルニハ何時モ何人モ忘ルベカラサル三ツノ精神アルソハ公共心、協同心、自助心デアアル此三ツノ精神ガ所謂一ツニナツタ場合此三ツノ樂味ガ一ツノ丸樂ニナツタ時之ヲ自治心ト申ス故ニ何レノ町村デモ此三精神ガ活躍スレハ繁榮スルノデアアル

公共心トハ公共ノ爲メニ盡ス心デ私ヲ後ニシ公ヲ先ニスル精神デ所謂町村ノ爲ニスルヲナラ自分ハ少々苦シンデモカマワヌト云フ精神デアアル由來日本國民ノ誇ルヘキ点ハ公共心ニ富ムコトデアアル此公共心ハ時ニ愛國心トナリ又忠勇義烈ノ精神トナルコトモアリ或ハ時ニ奉公心トナル場合モアリテ其目的物ニヨリ斯ク色々ニナルノデアアル之レガ大和民族ニ於テ最モ誇ルベキ点デアアル目ニ見ヘル物ノ上ニ於テハ櫻ト富士ノ山ダガ無形物ニ於テハ此精神デアアルト思フソレハ私ガ云フハカリデナイ一般ノ認ムル處デアアル

日露戦争後クロバトキンガ日露戦争ニツイテノ感慨ヲマトメテ出版シタモノガアルクロバトキン將軍回想録ト名ザケテキル此本ヲ讀ムト實ニ愉快ナリモアル又耻カシイモアル

日露戦争ノ前ニハ日本ノ國ヲ充分研究シタ其結果日本ハ露國ノ敵デナイ日本ハ總テノ物ノ上ニ於テ三倍ノモノヲ用意セネバナラヌ日本ハ實ニ貧弱デアアルカラ何程日本ガ腹ヲ立テ、モトテモ露國ニ向ツテカ、ラヌト思フテキタ然ルニ日本カラ戦ヲ挑ンダカラ露國ハ勝ツ積リデヤツテ見ルト連戰連敗ノ有様デアツタ、奉天戰後露國自分ニ三倍ノ用意ガ必要トナツタ何故我ニハ斯ク違ツタ調ベテ見ルト日本ノ兵力財力ハ貧弱テ國ハ小サイ決シテ調査ニ間違ハナイ日本ニハ算盤ヲ撥デケヌモノ形ノナイモノガアルソレハ公ニ對スルトイフ精神デアアル此精神ハ認メテ居タガ彼位盛ナトハ思ハナカツタ日本國民ノ義勇奉公ハ意想外デアアル日本人ガ已レテ拾フ、已以外ニ對スル精神ノ強イノデアアルコトヲ各國人ノ批評ヲ以テ証據立テ、居ル

獨逸人曰ク

日本人ハ國ヲ思フ人種デアアル其証據ニハ外出ノキ腰辨當ヲ持ツソレハ握飯ヲ其中ニ梅干ガアルソレヲ割ルト日ノ丸ノ旗ガ出來ル食事ノ時モ國旗ヲ見テ食スル之レテ愛國心ガアルヲガワカル我國ノ武德會テ握飯ヲ國旗飯ト名ツケテラル

英國人曰ク

日本人ノ公ニ奉スル精神ノ強イコトハ法律ニヨリ教育ニヨルノテナイ母カ乳ヲ飲マスト共ニ飲マシテラルモノダ牀ノ大キクナルニ從ツテ此心ガ大キクナル昔ハ吾々武士ノ家庭ニハ子供ノ養育ニ重キヲ置クハ何カ母ガ乳ヲ含マセル時ニオ前モ大キクナレバ君ノ御用ニ立タネバナラヌ如何ナルヲアルモ忠義ヲ忘レナヨト教ヘテ居ル私モ始終聞カサレタソレガ子供ノ時カラ骨肉ニ徹シテ居ルソレテ英國人ハ斯クイフテキルノデアアル日本ニハ忠勇義烈ノ精神ガ滿チテ居ルノデアアル然ルニ今日ノ母タル人ハ子供ニ向ツテイフニハオ前モ大キクナレバ立身出世シテ父ノ様

二月給ヲ澤山トツテ母ヲ安心サセヨトノコトアル昔ノ人ハ忠義ノ二字ヲ教ヘタ今日ハ公ノ事ヲ後ニシテ私ノ方
ニ力ヲ入レル風カアル教育アル人テモ私ノ爲ヲ子ニ要求シテ居ルカラ日本ノ此精神ハ衰ヘルダラウ何分忠義ノ二
字ヲ教ヘ込マシテ成長シタノダカラ彈丸盡クレハ肉彈ヲ以テ來ルカラ露國ハ負ケタ故ニ露國ニ於テモ精神教育ヲ
セネハ何程立派ナ學問ガアツテモイカヌト彼ハ結論シテキル

其後明治四十一年ノ頃米國ハ日本人ヲ排斥シダシテ日本人ノ入國ヲ許サナクナツタソレハ、サンフランシスコ
ノクロニクル新聞ガ巨魁デアアルソレガ日本人ノ惡口ヲ書イテ排日の記事ヲ掲ゲテ世論ヲ喚起シタ其新聞ハ四十四
年ニ記者ヲ日本研究ニヨコシタ日本ノ有識者ハ大ニ心配シタ處ガ十月二十二日ノ新聞ニ結果ヲ報告シタ我々ハ日
本ヲ永イ間見誤マツテ居タガ實ニ敬意ヲ表スベキ國デアアル日本ニハ三千年一貫シタ大精神ガアルソレニヨリ明治
維新ヲナシ以テ世界ノ一等國ニ負ケヌ迄進歩シタシカモ此精神ハ何時迄モ衰ヘナイ世界ニ於テ三千年以來一貫シ

タ精神アル國ハナイ讀者ニ誤解ヲ謝セネハナラヌト書イテアル
彼ガ云フ精神トハ何カ忠君愛國己ヲ捨テ、公ニ盡ストイフコトデアアルソレカラ後ハ日本ヲ排斥スルコトハセヌ此
様ニ日本人ヲ外國人カ認メテ感心シタルハ無形ノ此精神アルカラデアアル之レヲ衰ヘサセテハ吾々ハ何ヲ以テ誇ル
一カ出來ルカ兵庫縣下湊川神社ノ御神躰ハ楠公デアアル今日楠公ヲ知ラヌ人ハナイ兒童モ之ヲ知ツテタル處カ夫程
ナ楠公ノ身長容貌財產等ハ誰モ知ツテ居ラヌオ互ガ人ヲ知ルノハ公債証書現金借金トイフ様ニ形ノ上ノ一デアアル
稅務署ノ官吏ハ私共ノ財產ニ依テ所得稅ノ調ヲヤルオ互カ楠公ヲ知ツテ居ルノハ形ノ上デナイ形而上ノモノデ知
ツテ居ルノデ形而下ノモノデナイ形而上ノ精神デ知ツテ居ルノデアアル此精神ハ七生奉公ノ精神デアアル
楠公討死ノ前日大ニ迷ハレタ、ソレハ前カラ來ルノハ多人數ノ兵デアアルソレニ勞レタ少人數ノ兵ヲ勝ツ見込カナ
イカ戦ヘハ負ケル戦ハネバ陛下ノ御心襟ヲ惱マシ奉リ濟マヌト思フタ湊川ノホトリデ、明極和尙ヲ尋ネテ問答ノ
上悟リヲ開キ戰爭ヲシタ吾々ハ精神上ノ楠公ヲ知ルノデアアル百年千年ヲ經テモ亡ビヌモノハ形而上ノ精神デアアル

死シテ灰土水ナトニナルモノハ形デアアル其形ニ執着スルハ淺マシイ心デアアル容貌財產モ相當イルゲレドモ万世ニ
殘スモノハ精神デアアルカラ精神ヲ修養スルヲ要ス然ルニ今日ノ人ハ精神ハ如何ニナラウトモ容貌ヲヨクセン財產
ヲ増サントノミ心掛ケテ居ル實ニサモシイコトデアアル

義士ノ出生地タル當郡ノ人士ハ人一倍ノ悟リヲセラレンコトヲ望ム我々ハ此精神デ自治ヲヤレヨト明治天皇ガ許サ
レタ以上ハドテ迄モ精神的ノ活動ヲセネハナラヌ

昔ノ京都ハ繁昌デアツタガ徳川ノ天下トナツテ以來江戸ガ繁昌シテ京都ハ火ノ消エタ様デアツタ又豊臣時代ニハ
伏見ニハ桃山御殿トイフノガアツテ繁昌シテ居ツタ處ガ維新以後鐵道ガツイテ京都ニ上下スル人ハ多クアレドモ
伏見ヲ知ラヌ様ニナツテ伏見ハ衰ヘタ十六名ノ青年ガ奮然ト起リ人見喜三郎氏等ガ中心人物トナツテ十六會ヲ組
織シタ其事業ニ就テ委シク話ス暇ガナイ農村自治ノ研究ニ細カク書イテアルカラ若シ御入用ナレバ人見氏ニ御手
紙ヲ出サレテレハ書イタモノヲクルル、

處ガ舊守人ハ此十六人ニ反對シタ故ニ十六人ガ一人抜ケテ二人抜ケテドノツマリ唯三人ニナツテ死ンデモヤル覺
悟デアツタ人見氏ノ如キハ我全財產ヲ抛ウツタ處カ天ハ正義ニ味方ヲスルカラ事業益々盛ニナリカクタノデダン
ダンヨキ事カワカリ十六人カ一人入り二人入りシテ元ノ通りニナツテ都合ヨクヤツテ居ル内ニ伏見ノ有力者カ贊
成シ益々土地ノ發展ヲ見ル様ニナツタ即チ十六新聞トカ十六銀行後ニハ十六師團トイフ様ニ十六ニ因縁ノモノカ
出來タ、伏見桃山御陵カ出來テ當今デハ益々發展シテ盛大トナツタ是レ皆十六人カ自分ノ努力ヲ公共事業ニ提供
シタカラデアアル、

日本ニ模範村ハ多イガ必ス公共心ノ溢レタ土地ガ永續シテアル、私ノ方ニ稻橋村ガアル先代ハ村長トシテ村ノ爲
メニ盡力シ今代ノ人モ村長三代ニシテ百ケ年間盡シタ古橋源六郎此家ハ代々勤王家デアアル村民ハ村長ノ一言ニ服
ス先代源六郎ハ明治四十二年ニ死ンダガ村葬セラレ天下ノ名士ノ吊文ガアツタ嘗テ天保ノ飢饉ニハ我家財ヲ投ゲ

出シ米倉ヲ開キテ貧民ニ施シ身代限ヲシタ、スルト村民ハオ蔭テ助カツタノデ古橋家ヲ昔ニモリ返サント心掛ケ借金ヲ返シタ爲メ二三年タツト元ノ財産トナリ今日ハ此時以上ノ財産トナレリ人間ハ助ケラレルト有難イト思フ

心ハ皆アルモノデアル此様ナ家ハ益々榮エテヨイ子供ガ出來ル、

前ニ申述べタ如ク西加茂郡高橋村ハ本年養蚕デ五十万圓ノ收入ガアリ米ヲ二度作ルコトヲナセリ此處ノ村長ハ三百六十五日毎日役場へ出ル今井幾四郎トイフ人デアル此人ハ途中ノ村社ニハ雨ノ日デモ必ズ參拜ス今日一日村ノ爲メニ事ナク働カレル様ニト祈ル家ニ歸レハ佛ニ對シテ今日一日故障ナク村ノ爲メニ働カレタ禮ヲ云フ、此人ハ

斯クノ如ク人ノ爲メ村ノ爲メニ働ク公共心ノカタマリデアル、

世ノ中ニ發達シタ村又良村トイハル、所ハ公共心ガ必ス萌エテラル、福島縣相馬郡眞野村附近ニハ惡疫流行シテ此村ハ其中心地トナツテラケレドモ一人ノ患者ガナイ之レハ助役ガ熱心ニ盡シタカラデアアルソレガ爲メ一眼ヲ失ヒ殘リノ一眼モ潰レサウデアアル村長ハ助役ノ眼病ノ全快アランコトヲ村社ニ祈念シタ村會議員及村民モ感ゼサルモノハナカツタ其助役今ハ殆ンド見エヌガ産業組合長ニナツテラル、自分ヲ中心ニ慾深ク思フ人ハ何ノ事業モ出來ヌ、

西洋人ニ偉イ金満家ガ出來ルガ皆公共ノ爲メニ盡力スル英國ノカーネギーハ郷里ノ事ヲ何時モ思ツテ或時モ五百萬圓ノ寄附ヲナシ、ドウゾ村ガ榮エル様自治ガ揮フ様使ツテ吳レル様ニトイツタソレガ爲メ故郷ハ發達シタ、斯

ノ如ク遠イ處ニ居ルモノモ郷里ヲ思フ然ルニ其土地ニ居住スルモノハ盡力スベキ筈ナルニセヌモノガ多イ
福島縣下廣村ノ村長岩西謙造ハ各府縣ノ視察人ニ忙殺サレテキル故ニ役場ノ事務ハ夜間執務スル、ソシテ徹夜ヲスルコトガ多イカラ人々ガ心配シテ健康ヲ害セヌカト云フト兎角人間ハ樂ニヤレバ疲勞セヌ私ハ村ノ榮ヲ樂ムノデア

アルカラ一日ヤ二日眠ラズトモヨイトイフテ居ル、カ、ル人ガアルカラ模範村ガ出來ルノデア
協同ノ必要ハ能クワカツテ居ルガ實行ハ出來ニクイモノデア、三百年程前小サイ豪族ガ山陽山陰十州ノ主トナ

ツタ、其人タル毛利元就ハ協力一致ヲ重シ部下ヲシテ協力セシメタガ此風ガ明治迄モ續イテ山口縣長州系風トナツテキル、元就ガ死際ニ子供共ニ矢ヲ與ヘ之ヲ折ラシメテ協力一致ヲ教示シタコトハ歴史ニ於テ兒童モ能ク知ツテ居ルガ之レハ成功シタ時ノ話デアアル元就ハ吉田郡山ニ旗上ラスルトキ臣下ニ協同一致ヲ腹ノ底マデ打込シテノガ基デアアル昔ハ城ヲ築クトキ一人ヲ生理ニスル、處ニヨルト僧ハ世捨人デアアルカラトテ此城ノ爲メニナルトイフテ生キナガラ埋メラレタコトガ多イ斯クノ如ク迷信ヲシテ居ツタ、元就ガ郡山ニ城ヲ築クトキ誰ヲ生理ニシヨウカト皆ノ人ガ云フタ、其時元就ハ兵卒一人デモ大切デアアル今日人間ヲ生理ニスル必要ガナイ我ハ共代リニ埋メベキモノアリト示サレタノハ紙片一枚デアツタ「一日一力一心」ト書イテアツタ、之レハ最近ニ發見シタノデアアル之レヲ解剖スルト一日一力一心デアアル幾百万ノ人ガアツテモ一ツ心ニナラバ決シテ此城ガ落チヌ、生レ日ガ遠ヘバトテ死ネハ一日ト上下心ヲ一ニセバ知何ナル強敵モ恐ル、コトハナイ、此教訓ガ續イテ明治維新ニ豪傑ガ出來タ、一致ノ効果大ナルモノデア、兵庫縣ハハラ、ダカラ面白クナイ赤穂郡モ偉イ人カ一人出來ルト之ヲ讒

謗ス金持カ出來ルト之レモヨク言ハヌカラ事業ヲスル事カ出來ヌ

長州薩州ハ一致スルカラ勢力ヲ得ルノデア

日本デ有名ナ模範村ハ千葉縣山武郡源村デ山本、伊能、二軒ノ家柄ガアツテ互ニ村長ヲ爭フタ、斯クテ非常ノ難村ナリシガ二家仲直リシテ協力一致シタノデ源村ハ發展シテ模範村トナツタ、此村長カ町村長會議ノ時、時計ガナカツタ郡長カ時計カ必要ダカラ時計ノ共同購入ヲ勸メタ、此村長ハ各ノ自由ナラハ私ハ持ナマセヌ時間サハ勵行セハ時計ハイラヌモノト思フ私ハナクモ時間ハ何時モ勵行シテ居リマス、時計持ツタ人モ時間ヲ守ラヌ時ハ何ニモナラヌト答ヘタ、其後村會議員ニ向ツテ諸君ハ時計ノ必要ヲ認メラル、カ時計ヲ持タナクモ時間ヲ正確ニ願ヒタイト話ラシタ、村會議員ハ承知シ時間ヲヨク守ル様ニナツタト云フコトガアル、今日デモ村民ハ皆時間ヲ守ツテ居ル

或視察員ガ此村ニ行き裏面カラ見ルベシト村ノ中へ入ツタ處ガ道路ガヨク、水田ハ耕地整理シテ居ル大ニ感心シタ、次ハ人間ニ就テ調ベント駄菓子屋ニ入り此村ハ何ガヨイカト尋ネタ此家ノ婆々曰ク、私ハ何モ知ラヌガ人カ見ニ來ルカラ其評判カアレバ我々トテモ村ノ爲メニ名譽ヲ傷ツケテハ相濟ヌト常々心掛ケテ居リマスト、視察員ハ之ヲ聞イフ之レハ調ベル必要ハナイ村ノ様子ハ能ク知レタト、其儘見ズシテ歸ツタトイフヲデアル、ドウシテモ協同一致ヲセネハナラヌ

一致ノ出來ヌ理由

勢力争デアル、村長トカ議員トカ、勢力ヲ争フ人ニ限ツテ負ケルヲ嫌フ、之レハ凡人ノ頭デアル負ケテ勝ツトイフヲ知ラネハナラヌ

まけて勝つ心をしれや首引の勝ちたる人の倒る、を見よ

地位ヲ得テ勝ツタト思フノハ案外デアル實際負ケテ居ルノデアル、村長トナツタノガ破滅ノ元トナルヲカアル宜シク人ニ位置ヲ譲リ正實ニ村ノ爲メニ勤ムルソレカ勝ツタノデアル、名譽ヲホシガリ村民カラ嫌ハレル村長カ多クアル

世の中はこそこの二文字のつけごころ乱る、もこそ治まるもこそ

こそモツケ所ニ依テ乱ル、モノデアル、他人ノ力カアレバコソトイフ様ニシテ我カアレバコソト云フヲナイヨウニスレバ能ク治マルノデアル、何故ニ村カ發展出來ヌカ名譽ヲ争フ爲メカ勢力ヲ争フ爲メカソレヲ考ヘテ一致ヲセバヨイカナダケデ實行セザレバ何モナラヌ

日本人ハ人ノ揮テ相撲ヲトリタカル、子ハ親ノ臍ヲカヂリ親ハ子ノ臀デ飯ヲ食ヒタイト思ヒ互ニ依頼心カアルカラ我國ハ貧乏デ發展セヌノデアル、西洋人ハ自助心カ發達シテ居ル故ニ自分ノ村ヲ發達サスルニハ自分ノ力デヤラネハナラヌトシテ居ル

昔カラ事ヲナスモノハ皆自助心カアツタ

宮本武藏ハ二刀流ヲ考ヘ出シテ之レニヨリ岸柳ヲ撃ツタ此人ノ腕ノ出來タノハ自助心カ強カツタカラデアル博多デ仕合ヲヤツタ時何日何時眞劍勝負ヲシヨウトイツタ武藏ハ承知シタ宿カラ出テ仕合ニ行ク時朝早く乗込ダ途ノ中八幡宮ノ拜殿ニテ今日ノ勝利ヲ祈ラントセシカ神ニ絶ラネハナラヌ意氣地ナシヲ何故神カ助ケラル、カ自分ノ力ニタヨラレヌモノカ何ニナラウ自分ノ力限リヤルトイツテ拜殿ヲ後ニシテ下リテ行ツタヤツタ爲メ大勝利ヲ得タ晩年細川家ニ仕ヘタ後二刀ニ頼テ來タヲ耻カシク思ヒ二刀ヲ捨テ、シマヒ無腰ニナツタ之レガ自助心即チ自分ヲ頼ンダノデアル

熊本ノ若武士相集リ武藏ヲ撃タントシ八月十五日ノ夜武藏ガ歌ヲ讀ミ今ヤ筆ヲ執リ紙ニ書カントスルトキ後ヨリ切リカケタ武藏ハ毛布デ三人ヲ飛バシ其儘歌ヲ書イタ

明月や武士どものゆめのあと

コレハ直傳ニ書イテアル若武士ハ感心シタト云フ話デアル村ノ事業ヲ起スニ補助ガナケレバ出來ヌトカ縣カラ來テクレネハ出來ヌト云フテ他ノ力ヲ頼ム時ハ物が出來ヌ

心たに誠の道に叶ひなは祈らすとて神や守らん

コレハ菅公ノ歌デ神ヲ頼ム歌デアルガ京都ノ辻忠兵衛ハ心をは誠の道に叶はせて守らすとて我はいのらんとシタ此意氣此精神ガナケネハナラヌ
協力一致セヨトイヒナカラ人ヲ頼ムナトハ矛盾シタ様デアルガ左ニアラズ自助心ナキモノハ協力一致ハ出來ヌ綱引ノ各人ガ自分獨デ引張ルツモリデ引ケバ必ズ勝ツ然ルモ各々ノ心ニナレバ必ズ負ケル故ニ協同一致ト自助心トハ喰違フモノデナイ

自治行爲ノ發展

町村事業ニ四大事業アリ教育、土木、衛生、勸業デアアル是レハ自治デヤラネハナラヌ事業デコウイフ事業ヲヤル
ノデ自治行爲ガ認メラル、處ガ教育ヲ町ノ爲メ村ノ爲メニヤツテ居ル所ガナイ國家ノ命ニヨリ不精不精ニヤツテ
ヲル

世運ニ伴フ教育ガシテキナイ唯國家ノ法律ノ強制ニ漸ク伴フタ教育ヲヤツテアル小學校ノ教育ハ兒童教育デア
兒童ハ町村ノ自治ニ何等關係ガナイ直チニ關係アル青年ノ涵養ハシテナイ處女教育カシテキナイ

今日ノ町村ハ戸主ト主婦トハ如何ニシテ教育シテアルカ國ノ名モ知ラヌ様ナ戸主ヤ主婦カ随分多イソナ人ハ何
カ出來ルカ稻粃ノ鹽水撰ニモ反對スル様ナモノカアル此様ニ町村ノ爲メト云フ教育カ出來アナイ唯六ヶ年ノ義務
教育ニ逐ハレテ汲々トシテ居ルダカラ有力者ハ子供ノ教育ヲスルモ大切ダガ親供ノ教育ガ出來ナケレバ立派ナ國
カ出來ナイ

子供ヲ教育スルト親ハ酒ヲ飲ンデアルガ子供ハ親ヲ吞ンデシマウ
都々逸ガアル

五年千兩の學費をかけて覚えさしたが親不孝

とんだことした學校へ入れて一人娘をばうにふる

實ニ言語道斷デアアルコレハ親ガ教育ナイカラデアアル

土 木

日本ノ國ハ漸次進歩シテアルガ補助ガナケレバヤラヌトシテアルノハ土木デアアル、進歩發達ハ交通ノ宜シキニ
ヨルノデアアルカラ土木ニハ力ヲイレネハナラヌ

自働車軍隊ハ必要トナツタ我陸軍モ自働車隊ヲ編制シタ處ガ之レニ適スル道路ナキ爲メ東京ヨリ大阪迄一週間モ

費シタ何分一臺ノ重量千貫目ハアルカラ道路ガ強クナケレバ自働車ガ何ニナラウカ

我國ノ土木ノ將來ハ非常ニ多忙デアアル道路法ハ改正サレルデアラウ此土地ニ居ル上ニハ腹ヲ定メネハナラヌ

衛 生

避病院ハ病氣待受所ノ様デアアル之モ必要デアアルガ何病ニ限ラズ病氣ノ出來ヌ前手當ノ出來ル様ナ適切ナ病院ヲ何
故造ラヌカ虎疫何ゾ恐レン胃腸ヲ壯健ニシテ置ケハ虎疫ノ微菌ハ又胃腸ノ營養物トナル肺病トラホームノ如キ最
モ恐ルヘキ病氣デ之等ニ對スル衛生思想ヲ喚起シ此等ノ病人ヲ治療シ得ベキ病院ヲ造リ町村ノ生活ヲ幸福ナラシ
メンコヲ謀ラネハナラヌ

勸 業

金儲ヲスルノガ勸業ノ事業デアアル其金儲ノ種デアアル勸業費ニ金ヲ費サヌ誠ニナサケナイコデアアル

勸業費、農會費共ニ少ナイ然ルニ役場費會議費ニ多クヲ費スノハヨクナイ

會議ノ議事ハ一日ニ濟ムモノモ二日カ、ル之レハ豫定ノ時間ニ會議ニカ、ラズグズ／＼スル内ニ晝ニナル晝飯デ
モ濟ミテカラトイフ様ニナル宿料ニヨケイカ、ルカラ會議費ガ多クナル此會議費ヲ減シテ勸業費ニ用ヒタイ

或村ニテ村會ヲ見タコトガアル十時カラ開會然ル處豫定ヨリ二十分前ニ議員ガ揃ヌ議案ヲ配布シ置キ議長着席互
ノ挨拶スミ議長ハ此度ノ會議ハ豫算ガ主ナル事デアアルガ事業ニ就テハ豫メ御考ノ等若シワカラヌトハ助役ニ尋ネ
ラレタイトイフ

議員ハ先刻カラ能ク見タガマーコウイフモノデセウトイフ

議長ハドウシテモコレ位イルデアラウト思フ御同意ヲ願ヒマストイヘハ議員一同別段異議ナシト答フ

然ラハ讀會省署決議ト認メテヨロシイカ
異議ナク漸ク二十分ハカリニテ済ンダ

此事ヲ見テ實ニ感心シマシタ願クハ村トシテ必要ノ事業ハ立派ニヤツテイタマキタイ之レニハ自治心ガ肝要デア
ルサスレバ必ズソウイフ風ニナルノガ當然デア
私ハ時間ガアレバ次ノ様ナリモ話シタイガ縣廳ノ金森氏ガイハレタデアラウト思フカラ省キマス

自治機關ニ出ル人ノ撰擧

自治機關ニ出ル人ノ仕事

第五章 結論

我日本帝國ハ新領土ノ外ハ市町村ノ自治躰ヲ基礎トシテラ

今日ハ市町村ヲ進歩セシムルニ就テハ自治躰ニ任シ住民ニ向ツテ自治ノ政事ヲ許サレテアルノダカラ此自治躰ノ
ヨクナルナラヌノハ住民ノ覺悟ト公吏ノ如何ニヨルノデア
ル自治ノ政事ヲ立派ニヤレバ我國ハ強固ニナルト思フ
處カ日本人ニハ昔カラノ習慣ニ捕レテ爾頭ガアル今日デモ尙政治ハ上ノ政治ヲ見習フ癖カアル例ヘバ村會議員ハ
郡會議員ヲ學ビ郡會議員ハ縣會議員ヲ縣會議員ハ國會議員ノ態度ヲ學ブトイフ有様デア
ル本當ノ政治ノ妙味ヲ發揮スル處ハ國ヲ作ツテキル一ツノ自治躰ニヨルト思フ自治ノ區域ハ狭ク住民ガ少ナイ其町村ノ政治デア
ルカラ理想的ニ何デモヤツテ見ルコトカ出來ル然レモ國ニナレハ廣イカラ理想通リ出來ナイ例ヘバ犬養木堂ハ岡山
縣ニ於テハ憲政ノ神トイハレ理想モ多ク持テ政治界ノ名士テアルケレドモ何十年理想ヲ持ツテ居テモ國家ノ上ニ
之ヲ行フコトガ出來ズ何時モ少數ノ爲メ國民黨ガ失敗ニ終ル區域ガ廣イト立派ナ事デモ行ヒ難イソレガ町村ニナ
ルト相手ガ少ナク區域カ狭イカラ理想ノ村模範ノ村モ出來ルソシテ郡ガ之ヲ學ビ縣カ夫レニ學ブ様ニナツテ立派

ニ國家ハ出來ル筈デア
ル自治體ノ政ヲ國會ガ手本ニセネハナラヌ然ルニ主義ノ立派ナ議員ハアマリナイ己レモ國
會議員ニナラネバナラヌト金ヲマキ散ラシテ居ルモノガ多イ政府ニ反抗スルモノガ偉イ様ニ思ヒ郡會モ國會ニ之
ニ習ヒ村會モ郡會ニ習ヒ豫算モ減セネハナラヌト謂ツテ居ル斯クシテ議員ノ能事了レリトシテ居ル不見識モ亦甚
シイ哉デア
ル

人生レテ内閣總理大臣タル能ハズンバ村長トナルベシ國會議員トナルヨリ村會議員トナルベキデア
ル當今ノ有様ハ内閣ノ威信ガ地ニ落チテ政府ハ政黨政派ノ爭奪ノ具ニ供セラレテ御心配ハ上御一人不幸ハ國民
テアル此際國家ノ土臺ニナル町村ガ眞面目ニ自治ヲヤルトナレバ内閣如何ニ更迭スルトモ國ノ土臺ガ固ツテ居ル
カラ憂フルニ足ラヌ故ニ農村ノ改善ハ國家ノ改善デア
ル農村ノ進歩發達ハ日本帝國ヲ進歩發達セシムル所以デア
ル我々農村ニ居ルモノハ根據タル地方ヲ發達セシムベキデア
ル願クハ我々ノ根據ヲ整ヘテ國家ヲ進歩發達セシム
ル上ニ於テ努力セラレシマ
先ツ之レデ教育ト經濟ト自治トイフコトニ就テ御話シタ心算デア
リマス御縁ガアツタラ又御話シスルコトモアリマセ
ウ突然トワカラヌ處ヘ來テ口ギタナク話ラシ言葉ノ勢トハイヒナガラ不謹慎ノ言葉遣ヲナシ惡口雜言ヲ申シタ
ハ幾重ニモ御詫ヲ致シマス
此僅々三日間ノ講演デア
リマシタガ聊カデモ探ル處ガアラハ町村ノ爲メ御採用下サルレバ幸ト思ヒマス私ハ愛知
縣ノ安城ニ居リマス鐵道ノ便ガアリマス御通過ノ節ハ御立寄り下サイ又御質問モアリマスレバ手紙デ御尋ネ下サ
レバ存ジテ居ルコトハ御答ヘ致シマス聊カ急グ用向ガアリマスカラコレデ御無禮ヲ致シマス

頁 一 二 三 四 五 六 七 七 七 七 八 八 八 九 〇 一 二 三 四
 行 九 四 三 五 六 七 二 五 五 三 二 一 八 二 八 五 八 九

正
 金森デアリマス
 整備
 沿革ニ
 官吏ト
 述
 於テ
 述
 述
 マシテ
 述
 夫テナケレバ●
 異タ
 述
 之ヲ
 元テ
 固ヨリ
 団体
 特色ヲ

誤
 金森デアリマス
 警備
 沿革ハ●
 官吏ハ●
 述
 就
 述
 述
 マシテ●
 述
 夫テナケレ●
 異ル●
 述
 之ヲ●
 充テ●
 之ヲ●
 団体●
 特色ハ●

正 誤 表

頁 四 四 四 五 五 五 六 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 三
 行 九 二 八 二 〇 三 一 七 五 七 五 二 一 二 四 八 三

正
 簡單ニ述ベテ見渡イ
 団体
 係ラス
 即チ
 於テ
 云フコトヲ
 法人
 例ヘバ
 決シテ其
 疑フ
 他人ニヨルコトナク
 統ベ
 被治者
 局ニ當ル
 法規
 大局
 義士
 拙著

誤
 簡單ニ見度イ
 団体
 掛ラズ●
 即チ●
 於テ●
 云フコトヲ●
 權人●
 例ヒハ●
 決シ其●
 疑フ●
 他人ニヨルトナク●
 統ベ●
 被者●
 間ニ當ル●
 モ法規●
 大間●
 義士●
 拙者●

327
1917

三 六 九 五 八 六 一 八 三 四 〇 三 六 三 一六
 然ルニ 労働 家族 横領 會計検査院長 千古不磨 吸 極デアル 工業ガヨイトカトテ 共同ハ 御宸襟 ドコ迄モ 如何 然レル 良否
 然ルハ 労働 家族 押領 會計検査長 千古不磨 吹 極デアル 工業ガヨイトカテ 共同テ 御心襟 ドラ迄モ 如何 然ルル 宜シキ

大正六年七月十日印刷
 大正六年八月十五日發行

兵庫縣赤穂郡役所編纂

兵庫縣赤穂郡赤穂町加里屋二二三番地
 印刷者 岡本 薰太郎

兵庫縣赤穂郡赤穂町加里屋二二三番地
 印刷所 岡本印刷所

終

